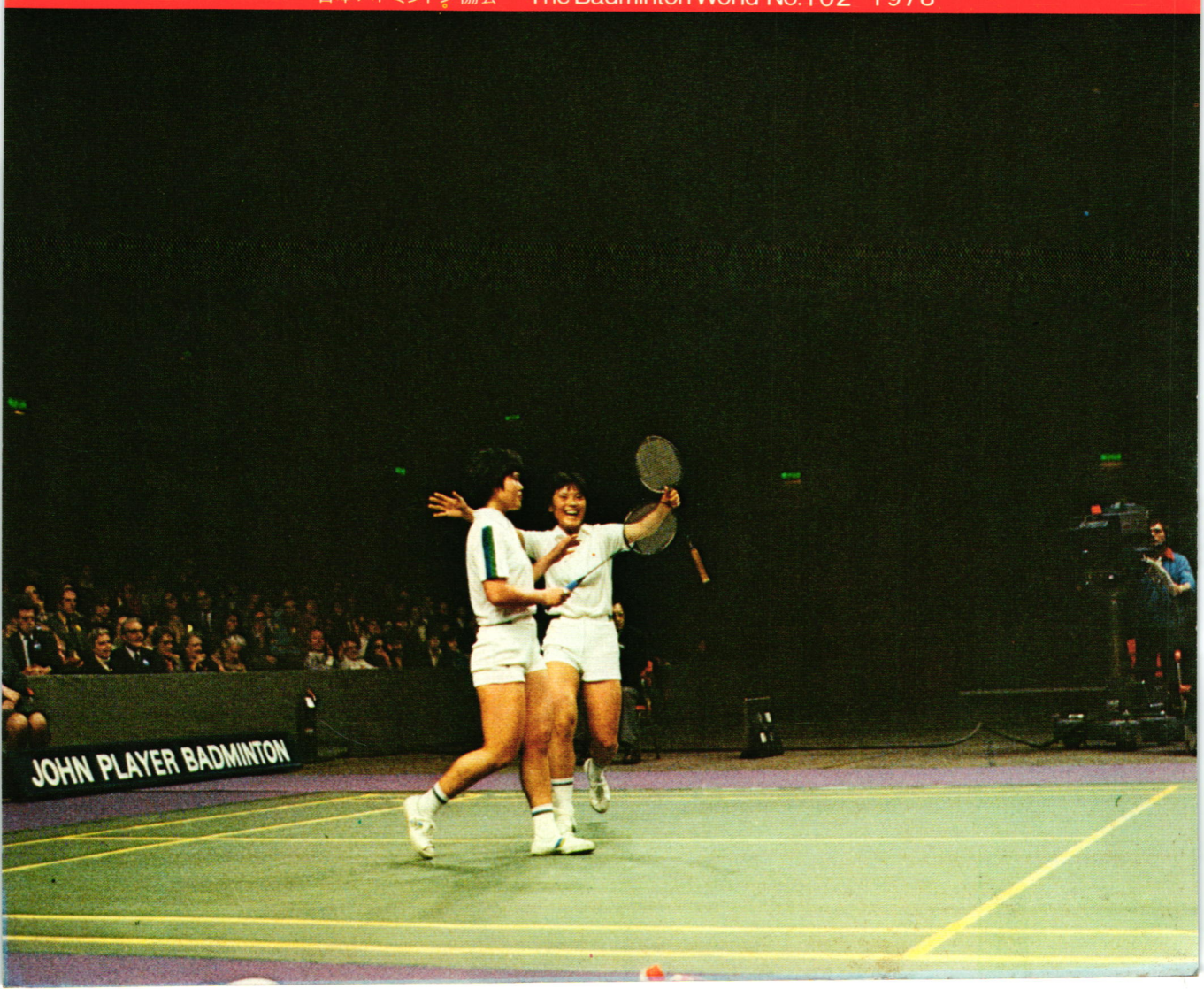
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年4月15日発行（毎月1回15日発行通巻第102号）

バドミントン 4

日本バドミントン協会　The Badminton World No.102　1978



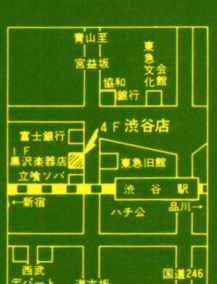
ラケットおニュー!!
意欲も新品。



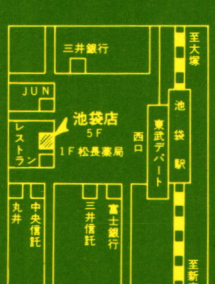
●年中無休
●営業時間　渋谷・池袋店
AM10：00～PM7：00

横浜店
AM10：00～PM8：00

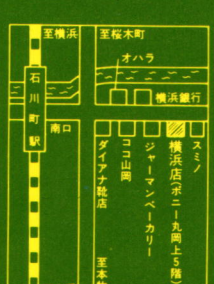
ラケットショップ元町



●渋谷店　バドミントン・プロショップ
☎03-400-7390



●池袋店　バドミントン・プロショップ
☎03-988-0215



●横浜店　テニス・バドミントン
☎045-651-2020

バドミントン界 4

❷ ヨーロッパ遠征速報 徳田・高田組、全英選手権で優勝	⓲ 友枝康子 海外トピックス
❹ 昭和52年度全日本総合選手権大会団体戦 河崎ラケット余裕の完勝	㉙ 東京運動記者クラブ・バドミントン分科会 難問山積の時代に援護射撃を
❻ 昭和52年度全日本総合選手権大会団体戦 徳田を軸にサントリーが優勝	㉜ クルト・エーラー シャトルを長持ちさせるコツ
❾ 小島一平・連載 厚いハルトノのカベに屈す	㉝ ジュディ・ハッシュマン “すべて満足”というわけにはいかない
⓭ 高田正純・新連載 事実は小説より奇なり	㉞ トマス杯組合せ決まる 大会カレンダー
⓮ 栂野尾悦子・連載 コートの上で自分のすべてを表現する	㉟ 寺田太郎・新連載 「桜の園」
⓰ 投稿[1] 国際親善試合タイ国遠征体験記	㊱ 関根義雄／平川卓弘・連載 返球の場所とフライトの種類
⓱ 投稿[2] 観客ももっと燃えよう	㊽ 編集室から

◇表紙デザイン・構成、本文カット＝野間デザイン室／表紙・本文写真＝赤星三樹（使用カメラ・レンズ＝アサヒペンタックスMX　SMC－P－M）、樋口哲也／現像処理＝スタジオ・アクト、樋口哲也　◇今月の表紙＝第68回全英選手権大会女子ダブルスで初優勝の徳田敦子・高田幹子組（サントリー）

★ヨーロッパ遠征速報★

徳田・高田組、全英選手権で優勝!!

近藤は決勝でギルクス夫人に惜敗

第26回デンマーク・オープンバドミントン選手権大会、第68回全英バドミントン選手権大会には、池田信孝、土田証雄、米倉よし子（以上電電東京）、栂野尾昌一、飯野佳孝、植野恵美子（以上ヨネックススポーツ）、銭谷欽治、湯木博恵、近藤小織（以上河崎ラケット）、徳田敦子、高田幹子（以上サントリー）の11選手が参加した。

全英選手権では、徳田・高田組と植野、米倉組がともに快進撃をつづけ、決勝で対戦し、徳田・高田組が見事に初優勝をとげた。

一方、女子シングルスでは、5回目の優勝をねらう湯木をはじめ、近藤も健闘したが、イギリスナンバーワンのギリアン・ギルクス夫人に準決勝で湯木が、決勝で近藤がそれぞれ敗れ、タイトルの獲得はならなかった。

男子も善戦したが、世界のカベは厚く、飯野・土田組がベスト8にはいったのが最高で、あとはふるわなかった。

全英選手権史上最強の男子プレーヤー、インドネシアの至宝ルディ・ハルトノは一年間のブランクにもかかわらず、準決勝で昨年の全英、世界チャンピオン、フレミング・デルフス（デンマーク）を一蹴し、決勝に進み、9回目のタイトルをねらったが、インドネシアの僚友、リム・スウィ・キンに敗れ、2位にとどまった。

男子ダブルスは、やはりインドネシア勢が圧倒的に強く、決勝は昨年と同じ組合せとなり、チュン・チュン・ワジュディ組が、クリスチャン・チャンドラ組を降し、2連勝4回目のタイトルをつかんだ。

混合ダブルスは、地元イギリスペアが頑張り、マイク・トレジェット、ノラ・ペリー組が優勝した。

◆第68回全英バドミントン選手権大会（ウェンブレー、3月15日～3月18日）

▼男子シングルス

▽3回戦

スミラト（IND） 2 15—3 15—1 0 銭谷

プラカシ（I） 2 18—14 15—5 0 土田

▼女子シングルス

▽3回戦

湯木 2 11—4 11—2 0 ツィブラー（G）

高田 2 11—8 11—3 0 ボルグストロム（D）

近藤 2 11—4 11—5 1 ブリッジ（E）

▽準々決勝

ギルクス（E） 2 11—7 11—0 0 徳田

湯木 2 11—3 11—3 0 高田

近藤 2 11—2 11—7 1 セコム（N）

▽準決勝

ギルクス 2 11—3 5—11 12—11 1 湯木

近藤 2 11—7 11—6 5—11 ↑クソン（C）

▽決勝

ギルクス 2 11—9 11—1 0 近藤

▼男子ダブルス

▽準々決勝

クリスチャン・チャンドラ（IND） 2 15—8 15—12 0 ヤン・チュン・ワジュディ

飯野 土田 2 15—4 15—10 0 クリスチャン・チャンドラ

▽決勝

飯野 土田 2 18—14 15—14 0 ウィジャヤ・マスリ（IND）

植野 米倉 2 15—3 15—10 11—15 1 バックハウス・ヤングバーグ（C）

◆女子ダブルス

▽準決勝

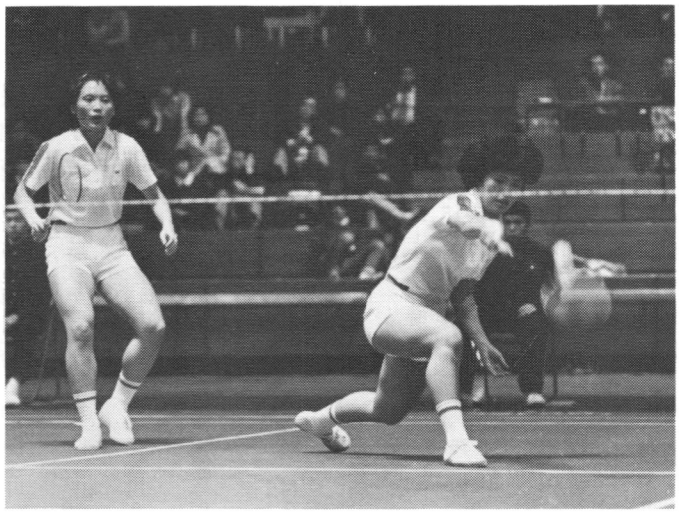
徳田 高田 2 15—4 15—7 0 スコブガード・コーペン（D）

植野 米倉 2 15—6 18—16 0 徳田 高田

◆混合ダブルス

▽決勝

トレジェット・ペリー（E） 2 15—8 15—12 0 ヤン・チュン・ワジュディ（IND）

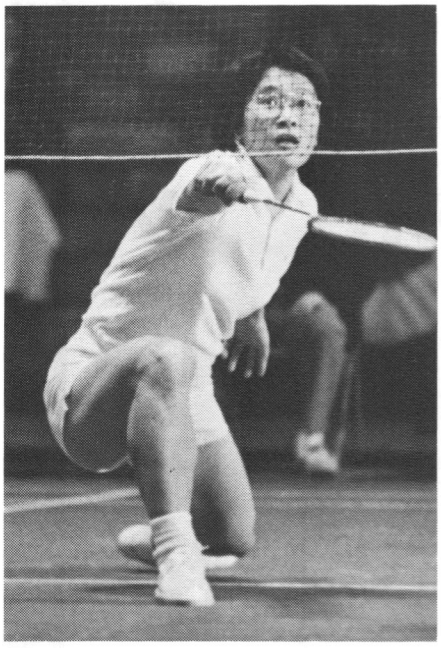


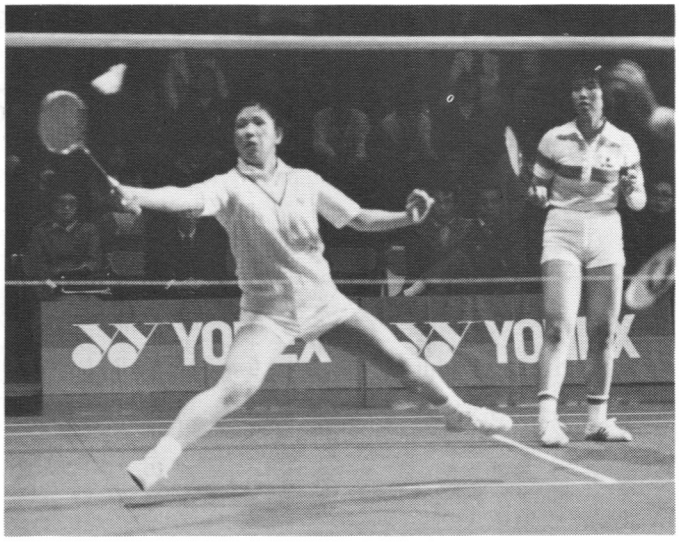
徳田・高田組▶

植野・米倉組◀

近藤▼

いずれも1月の国際大会で撮影





全英選手権の前哨戦ともいうべき第26回デンマーク・オープン・バドミントン選手権大会は、地元デンマークの選手が健闘したが、インドネシア勢も強く、タイトルを分け合った形となった。

◆男子シングルス

▽準決勝

L・S・キン(IND) 2 (15—8, 15—11) 0 F・デルフス(D)

T・キールストロム(S) 2 (15—11, 6—15, 18—17) 1 S・プリム(D)

▽決勝

キールストロム(S) 2 (15—7, 15—9, 8—15) 1 キン(IND)

◆女子シングルス

▽準決勝

徳田 2—0 近藤

L・コーペン(D) 2 (11—6, 11—4) 0 湯木

▽決勝

コーペン 2 (11—9, 9—11, 11—4) 1 徳田

◆男子ダブルス

▽準々決勝

フローマン・キールス 2 (15—10, 15—8) 0 飯野・土田(S)

デルフス・スコブガー 2 (15—7, 15—11, 11—15) 1 池田・栂野尾(D)

◆女子ダブルス

▽準々決勝

ベラワティ・イメルダ(IND) 2 (15—5, 15—12) 0 湯木・近藤

▽準決勝

ベラワティ・イメルダ 2 (15—4, 15—8, 15—8) 1 植野・米倉

ウィジャスタティ・マスリ(IND) 植野不明 米倉不明

▽決勝

ベラワティ・イメルダ 2 (15—4, 8—15, 15—8) 1 植野・米倉

◆混合ダブルス

▽1回戦

トレジェット・ペリー(E) 2 (15—2, 15—2) 0 フローマン(S)・植野

〈国名略称：IND＝インドネシア、I＝インド、G＝西ドイツ、D＝デンマーク、E＝イギリス、N＝オランダ、C＝カナダ、S＝スウェーデン〉

両大会の詳報は次号で、多くの写真とともにご紹介しますので、ご期待を!!

河崎ラケット余裕の完勝

中央大学1ポイントも取れず

昭和52年度の団体戦最後を飾る全日本総合バドミントン選手権大会・団体戦が、2月25・26日、国立競技場代々木第2体育館で開かれた。

男子は順当に河崎ラケットが、実業団、実業団対学生に次いで三冠目を手にし、女子はサントリーが、強敵日体大の追撃を退けて栄冠を獲得した。

▽男子1回戦

河崎ラケット	5	—	0	比叡山高
銭谷 中井2	15—11 15—5		0	西山 矢部
今井 斉藤2	15—1 15—2		0	横田 川嶋
斉藤 2	15—2 15—4		0	横田 矢部
銭谷 2	15—0 15—8		0	西山 矢部
中井 2	15—4 15—7		0	矢部 矢部
中央大学	3	—	2	和歌山県教職員
西村 長谷川 2	15—5 15—6		0	門間 平瀬
管 0	8—15 8—15		2	山本 米山
長谷川 2	15—6 15—4		0	門間 門間
管 0	10—15 12—15		2	山本 山本
西村 2	18—13 10—15 15—3		1	米山

▽同決勝

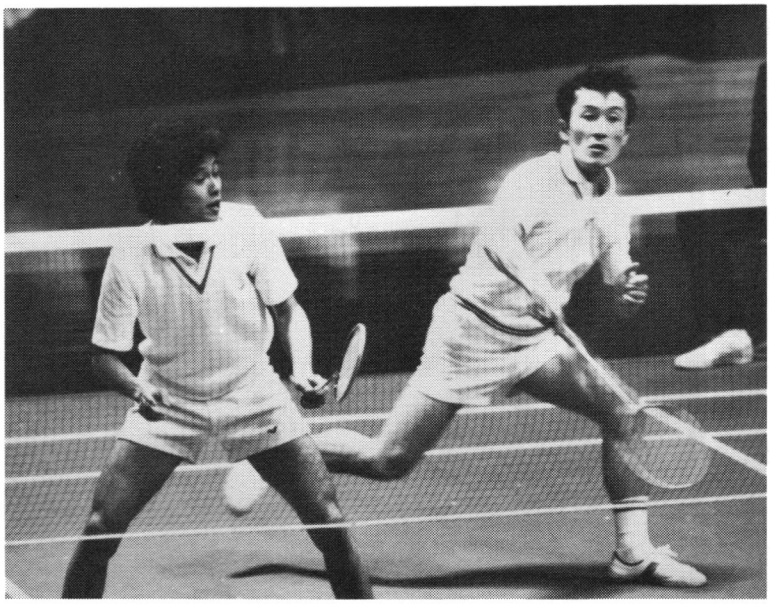
河崎ラケット	3	—	0	中央大学
銭谷 中井 2	15—7 17—16		0	米山 **管**
今井 斉藤 2	15—10 18—13 10—15		1	西村 長谷川
銭谷 2	15—5 15—7		0	管

全日本実業団、全日本教職員、全日本学生（インターカレッジ）、全国高校（インターハイ）のそれぞれ優勝チームが一堂に会し、団体戦を争う本大会は、大いに盛り上りが期待されたが、例によって事前PRの不足のためか会場にはごく数えるほどの観客しか見当らず寂しい限りであった。

試合のほうも、これといった盛り上りもみられず、〝全日本〟という名には、はなはだ物足りないものであった。

▼河崎×比叡山

インターハイ・チャンピオンとはいっても高校生のこと、かつての小宮好雄、岡崎恵三、小島一平といった超高校級の選手がいれば実業団チャンピオンと対戦しても楽しみであるが、今回の比叡山高校チームでは、河



山本・米山組

崎ラケット戦は荷が重すぎた。

西山が全日本チャンピオンの銭谷にどこまで食い下がるか期待されたが、残念ながらその厚いカベにハネ返された。

しかし、大きな体格を利し積極的に攻めたのは好感がもてた。

▽中大×和歌山県

インカレ・チャンピオンといえば若手ナンバーワンであり、教職員チームには楽勝と思われたが、結果的には長谷川・西村の二人が活躍したにとどまった。

オーダーはそれぞれ第一と第二というようにはずした形となり、最終シングルスの西村対米山に勝敗は持ち越された。

米山は法大時代に比べプレーが安定し、攻め急ぐことなく、じっくりとチャンスを待ち、うまく糸口を見出していた。

第1ゲームこそ圧倒的に押されっ放しだったが、第2ゲームをとるとペースをつかみ、ファイナル・ゲームも13オールのセッティングに追いついた。

ムード的に押し気味の米山が一気にセッティングと取るかと思われたが、勝ちを意識したか、急にプレーが小さくなり、5—0で西村が勝利をつかんだ。

▽河崎×中大

2コートを同時に使って開始したが、どちらも中大チームが元気に出足をリードした。

とくに実力的には第2ダブルスの米山・管組が、河崎の第1ダブルス銭谷・中井組を終始攻めまくり、銭谷・中井の凡ミスにも助けられ、ゲーム・ポイントを先取。しかし、どうしてもあと1本が取れず14オールのセッティングとなった。セッティングになると中大ペアは再び攻めの型にはいり2—0とゲームポイントをつかむが、またここでストップがかかり、惜しくも第1ゲームを落とした。

続く第2ゲームは実力の差が出てあっさりと敗退してしまった。第1ゲームのガンバリが嘘のような一戦だった。

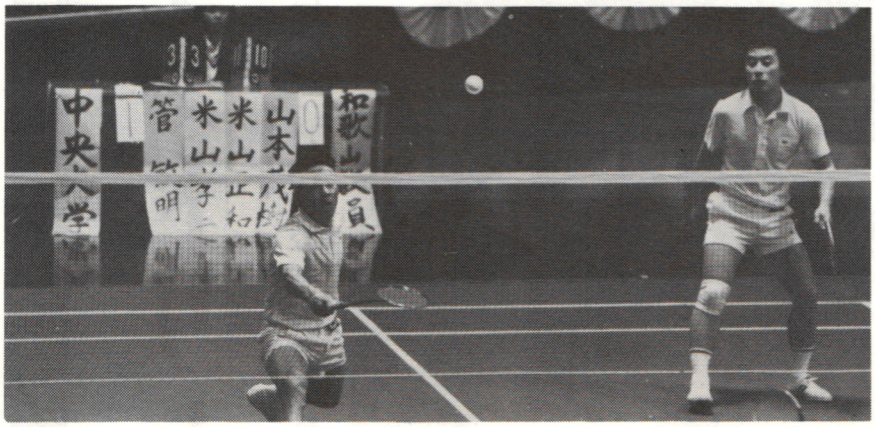
一方の今井・斉藤組対西村・長谷川組戦は、長谷川の人を食ったようなプレーに、今井組がジレてミスを重ね、10—15で第1ゲームを落とした。第2ゲームにはいると、ともすればイラ立つようなムードを、今井・斉藤組は冷静にシャトルを追い、チャンスを待ち、長谷川の緩いプレーに対抗した。

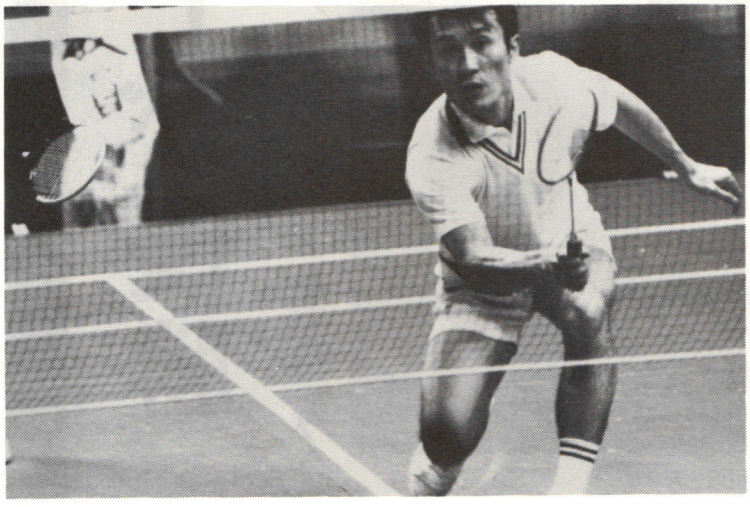
セッティングからは、斉藤が強打をみせ、西村・長谷川のセンターを割ってゲーム・オール。

ファイナル・ゲームになると若いはずの中大ペアのスタミナが切れ、今井・斉藤組に凱歌が上がった。

このペアの一戦が勝敗をはっきりと決定づけ、銭谷が管を一蹴、河崎ラケットの優勝が決まった。

中大の米山・管組





米山（和歌山）もよく健闘

徳田を軸にサントリーが優勝

日体大のがんばりもダブルス1本のみ

▽女子1回戦

サントリー 5—0 新潟青陵
- 徳田 2 (15—5, 15—3) 0 月岡
- 高田 2 (15—5, 15—3) 0 朝倉
- 谷 2 (15—4, 15—6) 0 中沢
- 秋本幸 2 (15—4, 15—6) 0 斉藤

秋本八 2 (7—11, 11—7, 11—7) 1 月岡

東海林 2 (11—6, 11—6) 0 朝倉

高田 2 (11—4, 11—3) 0 中沢

日体大 5—0 東京都教職員

関根 2 (15—7, 15—2) 0 松田

大塚 2 (15—6, 15—8) 0 村田

徳永 2 (15—6, 15—8) 0 功刀

枝 2 (10—12, 11—4, 12—9) 1 松田

日山 2 (11—8, 11—1) 0 村田

大塚 2 (11—0, 11—0) 0 山本

▽同決勝

サントリー 3—1 日体大
- 谷 1 (15—8, 9—15, 12—15) 2 関根
- 秋本幸 2 (15—4, 15—7) 0 徳永
- 徳田 2 (15—8, 11—6) 0 関根
- 高田 2 (12—9, 11—5) 0 大塚

女子はインターハイ一位の四条畷学園が出場を辞退し、代わって第二位の新潟青陵高校が出場した。

こちらは男子にもまして淡々と試合は進み、日体大がわずか



新潟青陵の中沢・斉藤組

に善戦したにとどまった。

▽サントリー×新潟青陵

実業団チャンピオンに対し、新潟青陵は2年生中心の若いチームで対戦したが、実力の差はどうすることもできず、月岡が秋本(姉)から第1ゲームを先取する健闘をみせただけであった。

▽日体大×東京都

この一戦も、松田が日山とファイナル・ゲーム、セッティングの好ゲームを展開したものの、他のゲームはすべて一方的な結果に終わり、盛り上りを欠いた。

▽サントリー×日体大

日体大の関根・大塚の二人でどこまで抵抗するかに興味が持たれたが、どちらもシングルスに精彩を欠き、サントリーの楽勝となった。

しかし、ダブルスにおいては持ち味を発揮し、第1ゲームを失ってから自分たちのペースをつかみ、ファイナルの末、谷・秋本(妹)組を下した。

秋本(姉)は前日、高校生相手にファイナルを演じており、そのプレーぶりが心配されたが、この日は気をひきしめて関根に向かった。第1ゲームこそセッティングとなったが、ストレートで勝利をあげ、サントリーの優勝を不動のものとした。

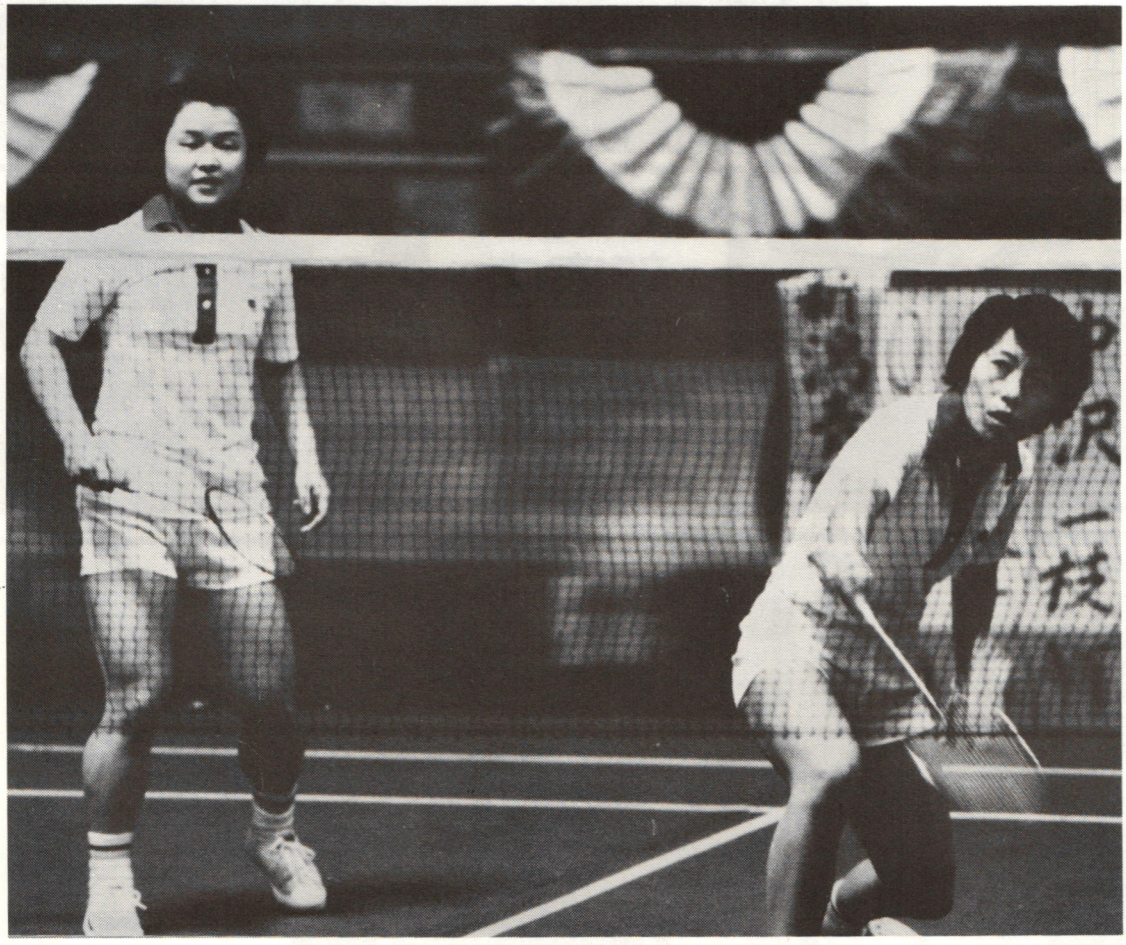
インカレ以来あまり練習をしていない学生チーム、インターハイで3年生が抜けた感じの高校チーム、この組合せでは実業団チームが勝つのが当然であり、ひいては、この大会そのものの意義をもう一度検討してもよいのではないだろうか。

新しいステッカーができあがりました

昨年に制作してご好評の会員ステッカーは品切れとなっていましたが、1978年版の新しいものができあがりました。

今年のものはデザインは同じですが、色が銀パクにオレンジと白で印刷した明るい感じのものになりました。

ご希望の方は、一枚につき100円を、巻末とじ込みの振替用紙ご利用のうえお送りください。



谷・秋本(妹)組

ファッショナブル・スポーツ——バドミントン。

厳選された豊富さでお応えいたします。 BADMINTON

ファッション性とスポーツ性——この2つをより合わせ持つファッショナブル・スポーツーバドミントンの感覚を肌で感じにいらっしゃいませんか——！

色あざやかにそして機能性も豊かなウェアやバッグなど——バドミントンのすべてが常にフレッシュな状態でスタンバイ。

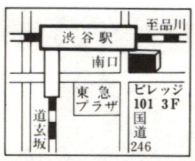
日本最大の専門店 ウインザー ラケットショップ。

毎月曜日定休・祝祭日を除く

渋谷店

東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3階) TEL 03-464-9251~2 〒150

●営業時間／午前10時~午後7時30分





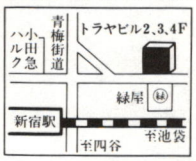


毎月曜日定休・祝祭日を除く

新宿店

東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2,3,4階緑屋前) TEL 03-363-6848 〒160

●●●営業時間／午前10時~午後7時







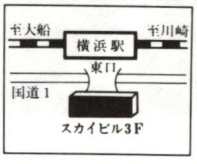
年中無休

横浜店

横浜市西区高島町2-1 横浜駅東口

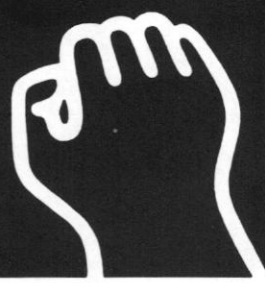
(スカイビル3階) TEL 045-461-1785 〒220

●●●営業時間／午前10時~午後8時



WINDSOR RACKET SHOP

新・ガッツ小島の体当り実戦教室



⑫小島一平

厚いハルトノのカベに屈す

デンマーク・オープンの優勝で、インドネシアのルディ・ハルトノ、ムルジャディ、ダルマディの三人を除く世界各国の選手恐るるに足らず、の自信を持った。

さて、全英選手権の組合せは、デンマーク・オープンの最中にわかるのであるが、各国の選手の大多数は、興味津々、とくに初めてベスト8のシードにでもはいれば、そこは個人の事実上の世界選手権であり、伝統、歴史ともに文句のない大会で、自分の実力を世界が認めたことになるのだから、悪い気持にはなるわけがない。しかし、私にとって初参加の時は、シードにはなったものの、一回戦で負けるようなみっともないことはしたくないと思っていた。

運のよいことに無名の選手と一、二回戦は当たっていたので面目を保ち、当初の目標のベスト8には残ることができた。

しかし、以前にも述べたように、ベスト8のシード以外は抽籤であるため、一回戦から強豪同士の対戦がみられたのである。

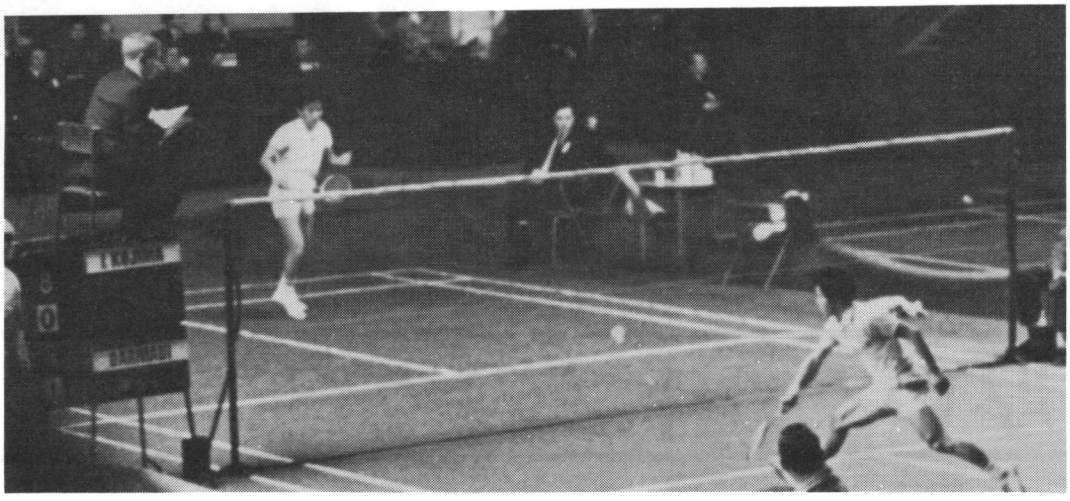
ところが、今大会の組合せをみると、私は前回のベスト8が認められシードにはなっていたが、なんと一回戦でデンマーク・オープンの決勝を争ったE・コプス、さらに順調に勝ち進めば、二回戦は西ドイツナンバーワンのW・ボショウ、三回戦はインドネシアナンバースリーのダルマディ、そして四回戦は、イギリスナンバーワンのP・ウェトナールだったのである。そして続く準決勝でR・ハルトノ。

いやはや大変な激戦区にはいったものである。もうこうなったら開き直り、とにかく一回戦から決勝のつもりで、神経を集中させ戦うほか道はないと結論を出す。

トーナメントの場合は、だいたいが徐々に強敵と当たっていくのが普通だが、こうも一回戦から強敵つづきでは、ベストの調子を初日にもっていかなければならない。もしかすると一回戦で負けるのではないかという不安感、精神的圧迫感とイヤなものである。

しかし、いつも述べているように、こういった場合や、カベに突き当たった時は、あれこれ考えるよりも、私の場合は、常に原点に戻り、とにかく体を動かす時間を多くする。そして、シャトルを打つことも大切であるが、それ以上に走り込んで走り込んで、まず自分自身との戦いにのぞむわけである。そして、そこで苦しいトレーニングに打ち勝ったという満足感を得られれば、必ずやよい結果が出るだろうし、万一目標を達成できずに終わっても、立直りを早くし、負けたくやしさを次回の試合まで持ちつづけ、激しい自己との戦いに終始することが、スポーツマンにとって絶対欠かすことのできないものである。

作戦もあるが、対戦相手の弱点をつかむことはもちろん大切である。しかし、最終的には長時間持ちつづけられるスタミナがなければ、技術も生かすことができない。だから、



ダルマディとの大熱戦

いち早く上達したいという気持が強ければ強いほど、自分を痛めつけることが必要であり、それがすなわち、抜群の体力を持つと同時に、強靱な精神力になるのである。

さて、いよいよ試合開始。もちろんコートはメインコート。観客注目のなかでスタート。試合が始まる前まではイヤな気持であるが、コートにはいり、ラブ・オール・プレー、の声を聞くと同時に、よしっ、やってやるぞ、と思い、シャトルをけんめいに追いかける。

1ゲームは競ったが10オールまで、それからは突き離した。2ゲーム目は、常にリードを保ち、まず完勝。コプスはデンマークで、まさか私に負けるとは思っていなかっただろうし、それだけに恐ろしいほどの形相で立ち向かってきた。しかし、私は彼のプレーに相性がいいのか、それとも自信を持ったのか、十分に余裕があった。

これは、コプスはバックハンドを多用するが、やはりフォアハンドにまさることは不可能であり、アジアの中でのスピードあるプレーに慣れてきたころでもあったし、このバックハンドによるプレーは楽であった。

やはり、横着せずに、できるかぎりシャトルの下にすばやくはいり、フォアで打つことを心がけるべきなのである。

二回戦もストレート勝ちしたものの、気が休まることはなく、ちょっと気を抜くとすぐにポイントをとられる。

いよいよダルマディとの対戦である。彼はファイナリスト（二位）の実績を持つ選手で、この一戦は今でもまぶたに浮かぶ激戦、殺し合いとなった。

1ゲーム先取され、2ゲームも常にシーソーゲーム。お互いにコーナーを突き、果てしなく続く長いラリー。できれば早く勝って楽になりたいとか、相手が足でもケイレンしてくれれば、などと時折考えるが、こうなったら、とことん相手が弱るまで戦ってやると、ムラムラと闘志が泉のようにわいてくる。

相手は歴戦の勇者、プライドもあり、鋭い表情。こちらも敵対心むき出し、2ゲーム目をやっと15—12で取り、ファイナルにもつれこむ。

第3ゲーム、6オールで彼は足がもつれる。〝しめた、もう大丈夫だ〟。だいぶ体力が消耗してきた。こうなったら、こっちのものだ。あせらず、じっくりいくまでだ。案の定、彼は仕掛けが早くなると同時にミスが多くなり、15—8で勝つ。さすがに疲れた。

翌日は準々決勝。イギリスナンバーワンのウェトナールであるが、イギリスのシングルスは比較的レベルが低く、彼は組合せの幸運で、ベスト8入りしたので、楽勝した。しかし、地元であり、声援はにぎやかであったが、力の差は隠し切れなかった。

いよいよ、前年準々決勝でなすすべもなく

敗れた、チャンピオン、ルディ・ハルトノとの準決勝にのぞむ。このころは一晩寝れば疲れはふっとんだし、一回戦から激戦を続けたので、体力・気力ともに充実。体中がカッカと燃え、試合前は三〇分のジョッギング、ハルトノと顔を合わせてもお互いに知らん顔。しかも、チャンピオンは19歳の童顔。この小僧っ子に負けてたまるか。

しかし、ハルトノの表情は緊張感の中にも余裕が感じられるのは、こちらは負けるかもしれない、の不安であろうか。

さてプレー開始。体は抜群に動き、スピーディな展開が続く。私のウィニング・ショットは、フォアの奥からストレートにスマッシュを打ち込むと見せかけ、相手のバック側にスマッシュ気味のカットを叩き込むストロークである。これと、ヘアピンがよくネットインし、浅く相手から打ち上げられたのを叩く。

ハルトノは攻撃してもよいし、防御もまた固いというオールラウンドプレーヤー。とくにスマッシュをどこへ打ってもレシーブがネットぎりぎりに返ってくる。また、一番決められた所は、私のフォア前。打つと見せかけ、ドロップ、これにはまいった。前か後か読めないのである。ということは、相手のストロークが瞬間的に、わかる時はまず大丈夫、しかし、一つ二つ三つとわからないことが多くなり、逆、逆と展開すると苦境に立たされる。

これが、私よりハルトノの打つストロークのほうが効果が大きく、これによって敗因につながった。

しかしゲームのほうは、1ゲーム15―17、2ゲーム14―17と、二ゲームともセッティングというスリリングな試合であった。



大会スポンサーの車の前で
全英選手権はいつもタバコメーカーがスポンサーになっている

教訓として得たことは、あせると、どうしても仕掛けが早くなってしまったことで、より以上に確実に逃げるということを徹底しなければいけないということであった。

とくに10オールを過ぎると、早く1ポイントがほしくなり、どうしても無理をしてスマッシュを打ち、絶妙なレシーブで、かえって苦境に立たされるということがたびたびであった。

これがチャンピオンとそうでないものの差なのであろう。

練習が足りないのだ。

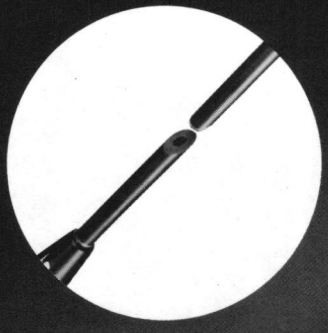
インドネシアはレベルが高い者同士、常に練習している。それに比べ、日本ではライバルが少ないうえに、常にしのぎを削る練習ができない。

しかし、負け犬の遠吠え。

もっと体力を無限につけるぐらいの気迫と闘志をもって、トレーニングに汗を流さねばと痛感し、必ずや世界一の王座につくと誓ったのであるが……。

（つづく）







CARBO DELUXII

S-79

新製品

カーボデラックスII

カーボデラックス同様、オールカーボンシャフトを使用し、特殊合金フレームをプラスして全て新しいタイプのラケットとして、ここに誕生しました。より軽くそしてよりスピーディでパワーフルな条件をすべて兼ね備えたまさに現在にマッチした、最高のラケットと云えましょう。あなたも最高のラケットでプレーしてみませんか？

CARBO DELUX

S-77

カーボデラックス

スチールカーボンシャフトとは違い、純然たるオールカーボンシャフトを使用。その弾力性は従来のスチールシャフトにないすばらしい反撥力を生みだし、多くの反響を呼んでおります。シャフトを若干太くすることにより左右のブレを解決していますので、アタックにレシーブにこの新しい魅力を十二分に発揮させて下さい。

SunBatta

ノンフィクションが小説や詩を圧迫し、ますます読まれる時代になった。

ノンフィクションとは、虚構（フィクション）でないこと、実際に起った事実を記録したもので、歴史、伝記、ルポルタージュなど、一般に記録文学と呼ばれるジャンルを指す。

ノンフィクションの流行とともに、従来の小説も形を変え、ルポルタージュ風の文学、読者に情報をあたえながらストーリーを展開するものがふえた。司馬遼太郎、城山三郎、松本清張といったベストセラー作家のスタイルは、いずれもノンフィクション的色彩が強いのは読者もご存知のとおり。

一体なぜ、ノンフィクションが流行（はや）るのか。テレビ、新聞、週刊誌などの普及によって、情報の伝わる速度と量が飛躍的に増えたため、ニュースの事実関係とその背景についての人人の関心が高まっている。また「事実は小説より奇なり」といわれるように、度胆を抜く事件があいついで現実に起きるため、われわれは、実話から、小説や映画から得る以上の想像力をかき立てられる、といった点が理由として考えられる。

ノンフィクションという英語は二十世紀の初めに生れたが、これをノンフィクション小説（ノベル）という形で定着させ、アメリカをノンフィクション王国に仕立て上げるきっかけになった作家がいる。映画『ティファニーで朝食を』の原作で有名なアメリカの現代作家トルーマン・カポーティ（一九二四――）である。

カポーティはカンサス州の片田舎の農家の殺人事件に着目し、現地に住みついて、六年間かけて、二人の犯人をふくむ関係者全員から徹底的に取材した。そして事件を再現したのが『冷血』（一九六六）という作品である。登場人物となった各関係者は、それぞれの視点から物語をすすめ、作者はこれを論評したり事実をゆがめたりしないよう留意したのが特徴である。

以後アメリカはノンフィクション全盛時代を迎え、世界中の出版とジャーナリズムに大きな影響をあたえるのだが、これ以前にもアメリカではノンフィクションのすぐれた書き手がいる。たとえば二十世紀の革命を例にとってみても、ロシア革命を記録したジョン・リード（一八八七―一九二〇）の『世界を震憾させた十日間』や、中国の共産革命をはじめて世界に伝えたエドガー・スノー（一九〇五―一九七一）の『中国の赤い星』などがあげられる。

アメリカのノンフィクションを語るときに落としてはならない人物がいる。〝内幕〟もので有名なジョン・ガンサー（一九〇一―一九七〇）である。彼は事件の背後にある人間に焦点を合わせ、「堂々たる態度で」ゴシップを集めて、現代に生きるさまざまな人間像を浮き彫りにした。彼の手法は、代表作『現代ヨーロッパの内幕』などをみるとわかるが、じつにこまかなデテールをつみあげて、ある時代の流れとムードを描写する。文字どおり、「足で書き」、「耳で考える」ジャーナリストの代表である。『ガンサーの内幕』という自叙伝の中で、ガンサーはジャーナリストを志す人々に、「何よりも『書きとめておけ！』と繰り返していっておきたい」と述べている。

何を書きとめるのか？彼は人物について、宗教、セックス、金銭、名声などに対する態度からはじまって、野心、欠陥、ニックネーム、暗殺の危険や護衛の方法まで、メモ魔となって記録したという。

こうしてノンフィクションが盛んになると、事実だけをならべた本が逆に読まれるようになり、「史上最低映画ベスト・テン」とか、「ふとめの男性十五傑」といった表ばかりのせた『リストの本』がベストセラーになったりする始末である。

終りに、読みごたえがあり、ノンフィクションとしても秀れている本を一冊推薦しておく。

新藤兼人著『祭りの声――あるアメリカ移民の足跡――』（岩波新書）。

ノンフィクション・アラカルト①
事実は小説より奇なり
放送ジャーナリスト　高田正純

エッコのバドミントンライフ

⑩梱野尾悦子

コートの上で自分のすべてを表現する

私は巨人軍の大ファンです。（他球団のファンの方ごめんなさい）

それも、巨人・大鵬・玉子焼き時代からの長嶋ファンなのです。引退試合の時の姿や声明を思い出すと、今でも胸がキューンとなるくらいに。現役時代のあのファインプレーやここ一番という時のヒットやホームランの快音に飛び上がって手をたたいて喜ぶほどに。何度か後楽園球場にナイターを見に行きましたが、たいていワンちゃんとのアベックホームランを見ることができ、座席を立って両手を上げて、「バンザーイ、ワーイワイ」などと、周囲の人と一緒になって大騒ぎするほどのバカなのです。

さて、その長嶋さんですが、『燃える男』の代名詞にさえ使われています。そんな大選手にはほど遠いながらも、私の中に『燃える女』の要素がどこかにひそんでいるようです。今、数々の大会を振り返ってみると、メラメラと燃えている時は、必らずといっていいほど勝っていて、とろ火や中火の時はたいてい負けているようです。

どんな具合にかというと、まず大きな大会が一ヵ月後ぐらいに迫った時、一ヵ月の練習のメニューを今まで以上に綿密に練ります。トレーニングやランニングの最中に、マークしている相手の名前や顔を思い浮かべたり、優勝カップを手にしている姿を想像しては、〝よし勝つぞ!!〟と心の中で叫んだりします。大会が日一日と近づくにつれてなおさら〝勝つ〟という気持が強くなっていきます。そして、いよいよ大会が始まると、周囲から燃え始めていた火が一気に心棒にパッと点火します。

シングルスは、自分自身でそのコントロールをすればよいのですが、ダブルスの場合、一人が勝手にやる気になっていても、もう一方の意欲が乗ってこないのでは何にもなりません。お互いに意欲をぶつけ合ってこそ、〝やろう!!〟という気持が湧いてくるものです。たいてい私はその必殺火つけ人になります。たあいのないことでふざけ合ったり、冗談を言ったりしながら、急に真面目な顔をして対戦する相手への作戦を確認し合うというふうに。

会場にカップやトロフィーなどがあるとよけいにわくわくしてきます。また逆に、大会前の人の予想や噂などで自分達の不調や劣勢を伝えられると、『それならそれで勝ってみようじゃないか』と、なおさら負けん気な性分が歯をむき出してきます。結局は、単細胞なんでしょうね。

しかし逆に、大会前に自分達のコンディションや練習内容が絶好調すぎる時は、本番になるとその調子が最後まで維持しきれなくて


金沢のおじさんの家で

気負いすぎて負けるケースもあります。こんな時は、点火のタイミングが悪かったのです。

本当いうと、とても無器用なのです。私のサーブやヘアピンショットにくらべたら、ずっと上手な人が山ほどいそうです。相沢さんと組んでいた時は、彼女の正確なコントロールと巧みな技のお陰で、上がってくるシャトルを打ちまくっていればよく、植野さんとは、どうにか球を沈めて、彼女の大砲が爆発しやすいように、ちょいと迷指揮官になったつもりでいればすむのです。試合中の私の最も大きな(?)役割はといえば、「イン！アウト！」「前、まえー！」などと声を張り上げることと、「ヘボよ、ヘボ狙うよ」とか、「センター、センター」などと言うぐらいのものでたいしたことはやっていないのです。

植野さんとのエピソードはまたゆっくり書くことにして、短大時代にひき返してみます。

ある日、珍しく練習がお休みになり、先生と相沢さんと三人で舞台公演を観に行ったことがありますが、その帰り道、すっかり日が暮れた新潟の街を歩きながら、先生の話は観劇したばかりの話題から次々と花が咲き、究極はバドミントンへと落ち着くのです。

「すべての芸術、舞台や絵や音楽などあらゆる芸術は、作者が、その時々に感じたもの、生活の中から、人間関係から、自然から得、知り、感動したことを、舞台での身振りに、絵筆のタッチに、一つの音譜に表現しようと挑戦し続けている。そして、バドミントンは、コートの上で自分のあらゆるものを表現するのだ……」と。

いま私は何をやろうとしているのか、何をやっているのか、何を考え、何を求め、理想としているのか、それらを自分の体で、ラケットに託してバドミントンで竹中悦子（当時はまだ竹中でした）を表現する。

『私は、何のためにスポーツをやっているのか』。今まで、スポーツすることが楽しくて、それ自体に何の疑問も考えもしなかったことでした。スポーツすること、その中で私は、バドミントンを私の生涯をかけたスポーツとして選んだのです。


短大の仲間たちと

〝バドミントンのコートで自分を表現する〟この時、私にとってのバドミントンの一つの指針が見え、信念めいたものが生まれたのです。

スポーツの価値、スポーツのすばらしさは自分でぶつかってみなければわかりません。そして、スポーツは、私にとってバドミントンは、誰のためでもない、自分のためにあることをはっきり知った日でした。（つづく）

投稿☆

国際親善試合タイ国遠征体験記

千葉県副理事長・河辺　満

去る2月9日、羽田空港を出発、途中香港にて給油し一路バンコク空港に向う。機上からの下界は果てしなく、何100キロにも続く平原。更に、何10キロともあろう直線の道路、水と緑の原野、気温は32度と、日本とはあまりにも違う対照さに驚いた。

全員元気、初めての海外旅行の人もありで、空港から宿舎までの約30キロの道路は、幅100メートルもあり、ベトナム戦争当時の米軍が滑走路として作ったものとか、山という山はなく平担地に10キロの直線であり、いろいろ思いをめぐらす間に40分にして、バンコク市内のホテルにはいる。

今回千葉県バドミントン協会として海外親善試合を計画したところ、ヨネックススポーツ、タイ・ヨネックス・エージェント、また日本協会等の努力により、タイ国遠征が実現、同国選手との相互理解と信頼を深め、国際親善の増進に寄与し、千葉県バドミントンの発展と健全な育成をはかる目的で企画しました。

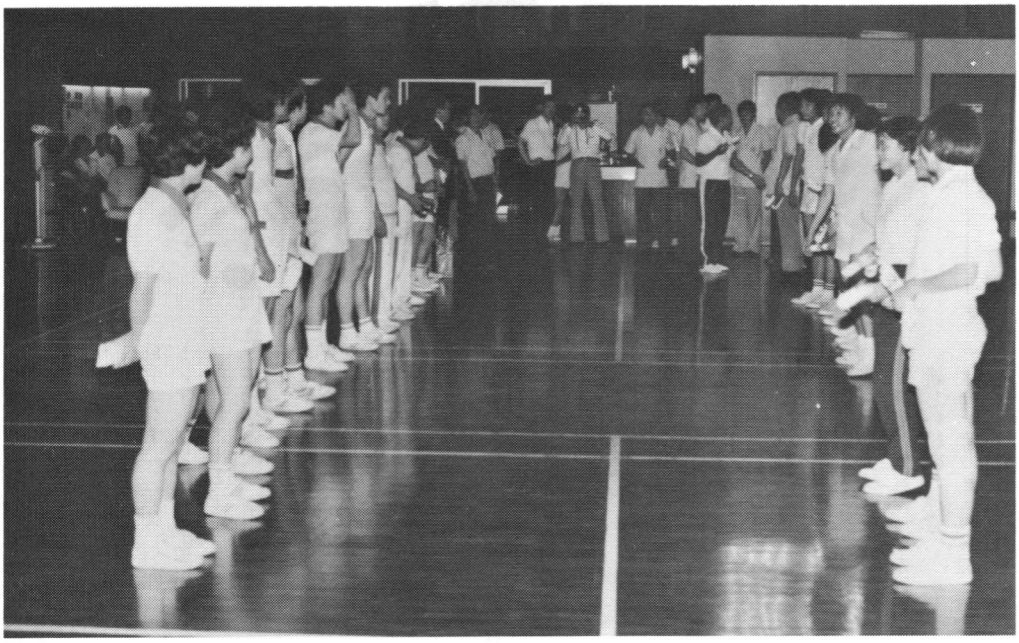
参加者は団長・国分幸雄（県バド協会副会長）、河辺満（県バド協会副理事長）監督臼井俊治（県バド協会理事）コーチ・山口進（君津信用組合）マネジャー・峰元一匡（県バド協会事務局長）視察員・中田勲（県バド協会理事）鶴野弘（ピークスポーツ）選手・田中康二（稲毛中教）、安彦三千

試合前の記念撮影





千葉県選手団



試合前の記念品交換

一（中央学院教）、西村龍夫（ヨネックススポーツ）、大場和博（ヨネックススポーツ）、織本富之（ピークスポーツ）、池尻千恵子（茂原高教）、平野やすえ（清和短大附属教）、安彦広美（日立精機）計15名が参加し貴重な経験を積むことができました。

日中は32～33度前後の気温でうだる。当然日中は試合のできるようなコンディションではなかった。開始は夕方六時より市内バンコク銀行バドミントン専用体育館で、照明は多少暗かったが、りっぱなコート、経験豊かな役員と選手。役員は元トマス杯、世界選手権に出場した人々、選手は男子では大学チャンピオン、女子では高校チャンピオンでタイ女子チャンピオン等が出場。筆者の見たところ実力は日本のベスト8～16、高校女子はベスト4程度の実力の持主ではないかと思った。

試合は男子2複3単、女子1複2単で行なわれ、暑さ、暗さ、シャトル等の変化により、日本選手は実力が出なかった。ちょっとクリアーを打っただけで頭から足先までびっしょり、タイ選手は実力、ファイトがあり、最後まで汗びっしょりで頑張る姿には感心させられた。若い選手が多かったが、このまま努力を続けると、国際的にも良い選手が育つと思う。

試合結果は女子単で1引き分け、あとは全敗という成績だったが、タイ国側選手団の良いプレーが続出して大変参考になった。

試合の間に両国の交換会を行い、選手役員の紹介、須田勝勇千葉県バド協会長のメッセージを読み上げ、バンコク市協会長に手渡した。試合後レセプション。両国の歌が出たり有意義に過ごすことができた。翌日は市内観光、バンコクから香港で1泊、機上にて頭に浮かんだ事は、日本の良さが国外に出ると良くわかると聞きますが、その通りで、日本の豊かな経済、そして各方面の施設、更に、自由ということが実感として、日本人として誇りをかみしめるのであった。

尊い親善試合の意義を尽して、千葉県チームを乗せた機は、一路羽田空港へ。到着と同時にその寒さに閉口してしまった。

投稿☆

観客ももっと燃えよう

大宮市・池谷利彦

東京の国立競技場代々木第2体育館で行なわれた第7回国際大会を見て、気のついたことなど述べさせていただきます。

当日はかなり混むのではないかと思い、早く出かけました。

しかし、開場時間まで40分以上も入口で待たされ、折からの寒風の中、もう少し早く開けるとか何か融通をきかせてもらえたら、と思いました。

試合のほうは、銭谷選手が世界チャンピオンのデルフス選手とどんな試合をするか楽しみにしていたのですが、キールストロム選手に敗れ、その対決をみることができず非常に残念でした。

外国選手のプレーを見ていて気のついたことは、プレーひとつひとつが実に柔軟性に富んで

（46ページへつづく）

WORLDWIDE TOPICS

海外トピックス
友枝康子

いよいよオープン化？

イングランド・バドミントン協会の代表は、近く、バドミントンオープン化問題で先手を打った行動に出る予定。バドミントン発祥の国が、再びリーダーシップをとるのは、まことに時宜を得たことといえる——この競技が商売人のプロモーターの手に渡る前に。

ニック・バディベント（同協会企画開発担当）とスタン・ミッチェル（同企画開発委員会議長）は、二月のオランダ選手権大会に出席、すでにバドミントンオープン化に対する関心を表明している国への正式の接触を行った。各メンバー国がオープンに踏み切るかどうかを選べるよう、IBFが認める方式にもっていきたい意向である。

よりよい国際組織をめざして

IBF会長　ステラン・モーリン

この記事は残念ながら、しばらく保留されていたため、アジア関係の意思は正確さを欠くものとなったが、他の内容は適切と思われる。

重要な三つの課題

バンコクにおける年次総会で、理事会のかかえている三つの大きな課題にふれた。すなわち、新しい組織の運営
オリンピックへの参加
アジアにおける事態の改善

第一の課題は、理事国の協力により、現在順調に進んでいる。オリンピック問題は、多くのメンバーの支援によりIOCへの働きかけが行われている。最後の課題については、事実に対する認識不足が感じられる。

国際的な知識の欠如

六か月の間に改善が見られたものの、なお、情報と知識のギャップが、理事会、メンバー、国内メンバー、役員とプレーヤーの間にあることが憂慮される。各国が、バドミントンの問題を自分たちだけのせまい角度で見ていることが多い。もし、各国で、国際的なスポーツ全般、それとバドミントンの問題について学ぶよう国内委員会で何人かの人選を行えば、国内においてIBFの問題を検討する時でも益することが多いだろうと思うし、IBFとしても新しい血とアイデアを受け入れることになるだろう。

コミュニケーションをよくするために

プレーヤーと役員たちの間の意思疎通が行われていないことが多い。メンバー国では、その委員会にプレーヤーを加えていることがあるが、プレーヤーの意思に果たして耳を傾けることがあるのだろうか？プレーヤーからの「フィードバック」があるのだろうか？

現在起っている問題、予想される問題について、プレーヤーおよび役員側双方とも学び合わねばならないのであるが、同じことが、IBFと各メンバー、プレーヤーとの間にもいえる。

これに関連して、ワールド・バドミントン誌についても、いっておきたい。編集者は時にするどい筆をふるうが、これは必ずしもIBFの公式見解とはいえないことをいっておきたい。

編集者も望んでいることだろうが、意見や反論はどんどん寄せていただきたい。そうすれば多くの人が、さまざまな見方ができるし、多くの情報を入手することができるだろう。ご協力を！

デルフスが30万ドルでプロ!?

プリとデルフスの両プレーヤーがプロへの転向の仮契約を了承したというウワサ。

デルフスは2年間30万ドルを希望したといわれる。世界チャンピオンのリーン・コーペンも交渉を受けたがその意志なしと報道された。そのほかに名前の挙がったのは、スウェーデンのベント・フローマンとトーマス・キールストローム、イングランドのギリアン・ギルクスとレイ・スティーブンス。WBFのテー・ジン・スイは、はっきりとこれを否定している。「これは初耳だ。プロ契約をして、WBFに何の得がある？そんな契約に出す金はない。WBFの信用を落とす策略である！」

（いずれも「バドミントン・ギャゼット」2月号から）

チャンスが来たぞ。

世界の一流プレイヤーが
使っているヨネックスの
インターナショナル製品を
抽選で、10,000名の方に
プレゼント。

●下記のヨネックス製品をおもとめください。

ラケット

B1000　B2000　B3000　B4000　B5000
B6000　B6500　B7000　B8000　B8100
B8300　B9000　B9100　B9300

ウエア

日本バドミントン協会推せんのすべてのシャツ、ショートパンツ、ワンピース、スカート、キュロット、セーター、ベスト。そのほかウォームアップ、トレーナー、パーカー、ウインドブレーカー。

バッグ

No.354　No.355　No.350　No.351　No.352（A・Bのみ）
No.356　No.357　No.359　以上該当商品

●抽選で10,000名の方に下のものどれか1点をプレゼント。

1.バッグA　2.バッグB　3.ポット　4.ラケット
5.ウォームアップ　6.タオル　7.ラケットケース
8.ガット

以上の商品はイギリス、オランダ、スエーデン、デンマークなどの国々で人気の高いヨネックスのインターナショナル製品です。

●ご応募の方法

おもとめになったヨネックス製品（該当商品）についている応募ハガキに、おもとめの製品の価格シールをお貼りになってお送りください。

●実施期間

昭和53年2月1日～5月31日（応募締切）

●当選発表

昭和53年6月15日

雑誌〝バドミントン界〟誌上と各参加店の店頭なお、プレゼント商品はおもとめになったお店を通してお渡しいたします。



③バドミントン・ポット（500個）
シャトルコックスタイルのシャレたポット



②バッグB（500点）
ヨーロッパ一流プレイヤーのサイン入り



①バッグA（100点）
ラケット、ウェアなどが専用に納まる特製バッグ
（※写真のうち、ラケット、ウェア、アクセサリーなどは含みません。）



⑤ウォームアップ
（100セット）
断然人気のNo.118型特製

④ラケット
B-9100（300本）
サイン入り





⑥タオル
（500本）
特大のスペシャルタオルです



⑦ラケットケース
（3,000枚）
特製サイン入り



⑧ガット（5,000張）
ヨネックス高級ガット

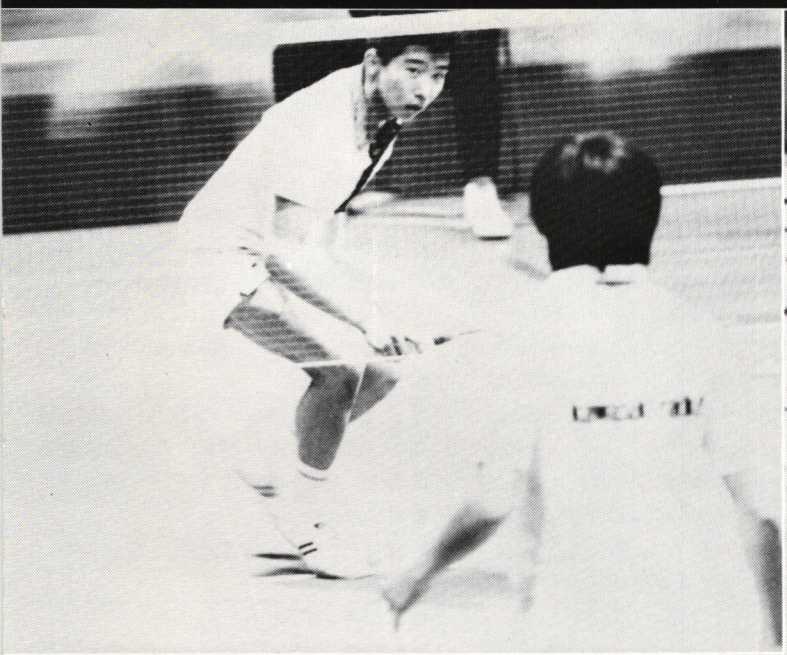
YONEX WORLD BADMINTON FAIR

ヨネックス ワールド バドミントン フェア

10,000名さまプレゼント!

YONEX®

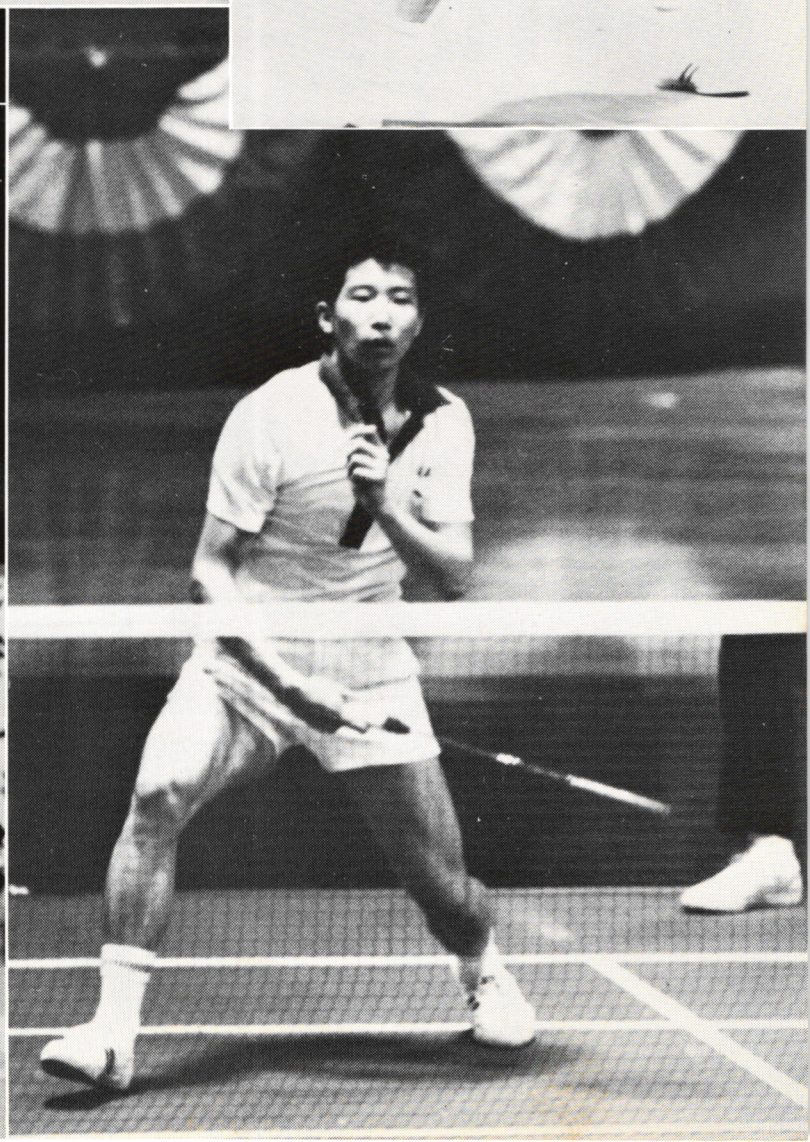
インターハイ・チャンピオンがんばる



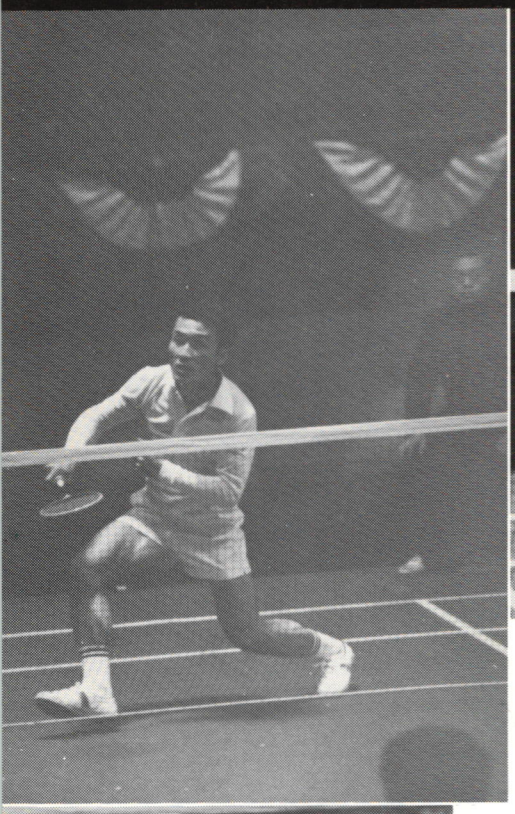


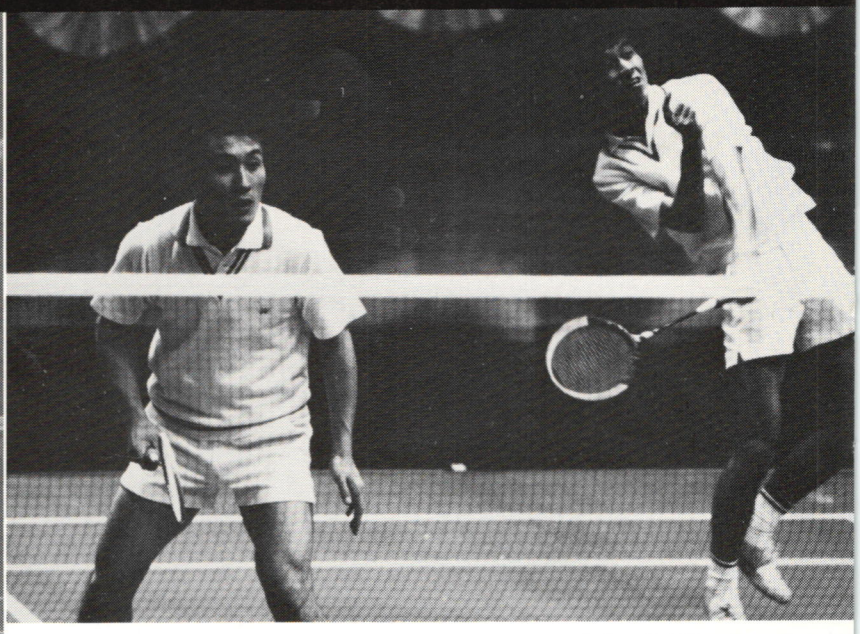
西山博司（比叡山高）





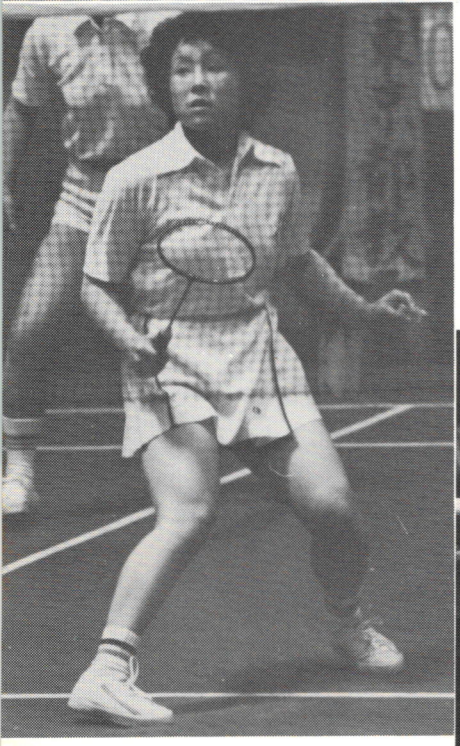
教職員チームも奮戦





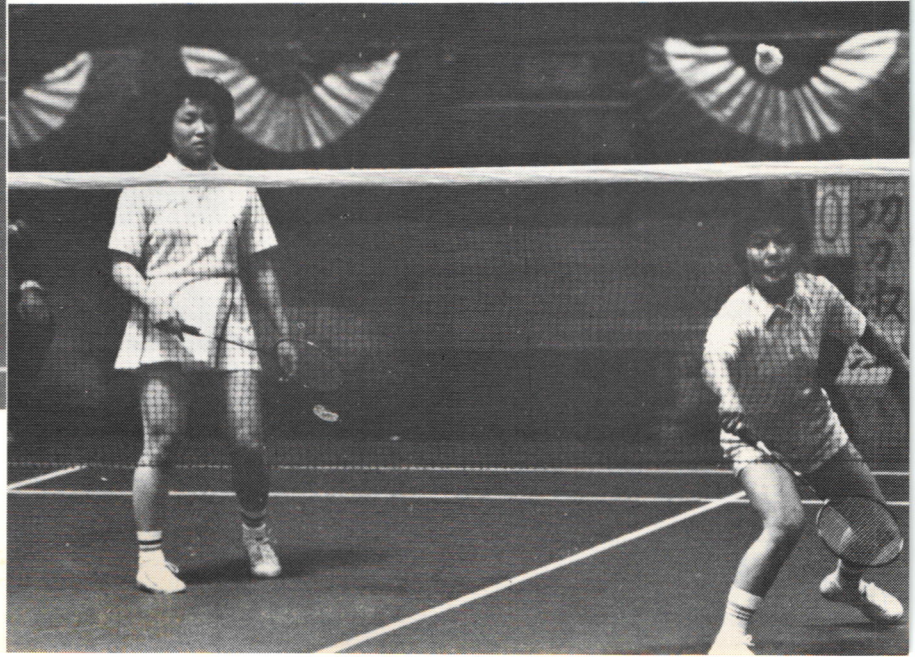
和歌山県男子

山本・米山組



東京都女子

健闘する功刀・村田組





竹の特性を生かした話題のバンブーラケット。ハイ・トーマス

No. B45 ハイ・トーマス ¥4,800　★高級競技用ロングテーパーシャフト フレーム・カバー付

竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積した、バンブーラケット〈ハイ・トーマス〉。竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。ガット張りによるラケットの変形が起らなく、ソフトグリップが手に良くなじみます。

日本バドミントン協会推奨

球ばなれの早い極限の0.75㎜。新発売。

HY-SHEEP Super ハイ・シープ・スーパー

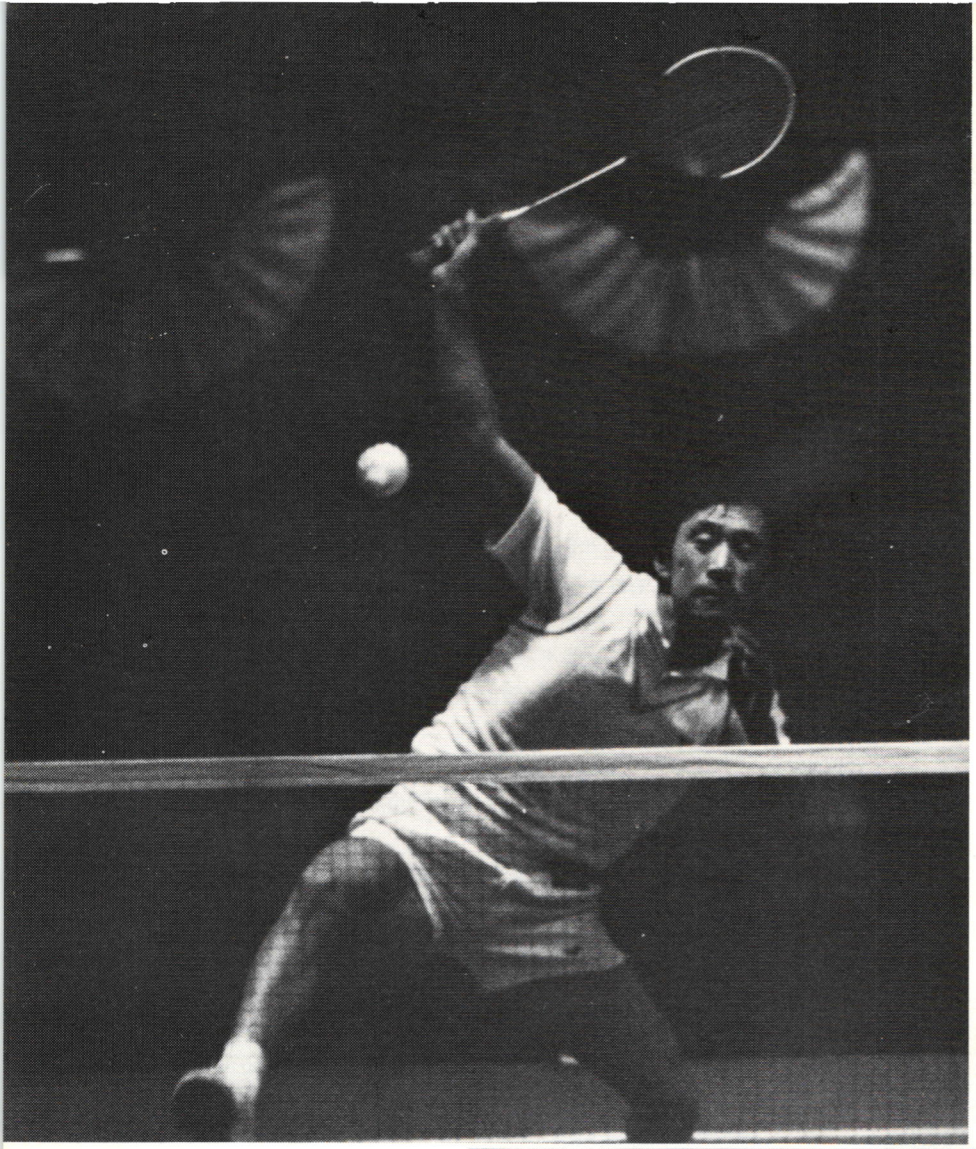


超強力（ナイロン）糸の使用により、インパクト時の摩擦による、ガット切れは解消。細いゲージ（0.75㎜）が球ばなれを早くし、また風による抵抗が少ない為、シャープな振りを生む。打った時の確かな手応えは長期間の使用にもゆるみがなく、常に鋭い反撥力。温度・湿気などに変質しない優れた耐久性は限界を知らない技術の結晶。張り上げがスムーズで色合いも他に類のない、ラケットとのトータルカラー。常に追求を緩めないゴーセンの技術陣が作りあげた、まさに超スーパー級のガットです。

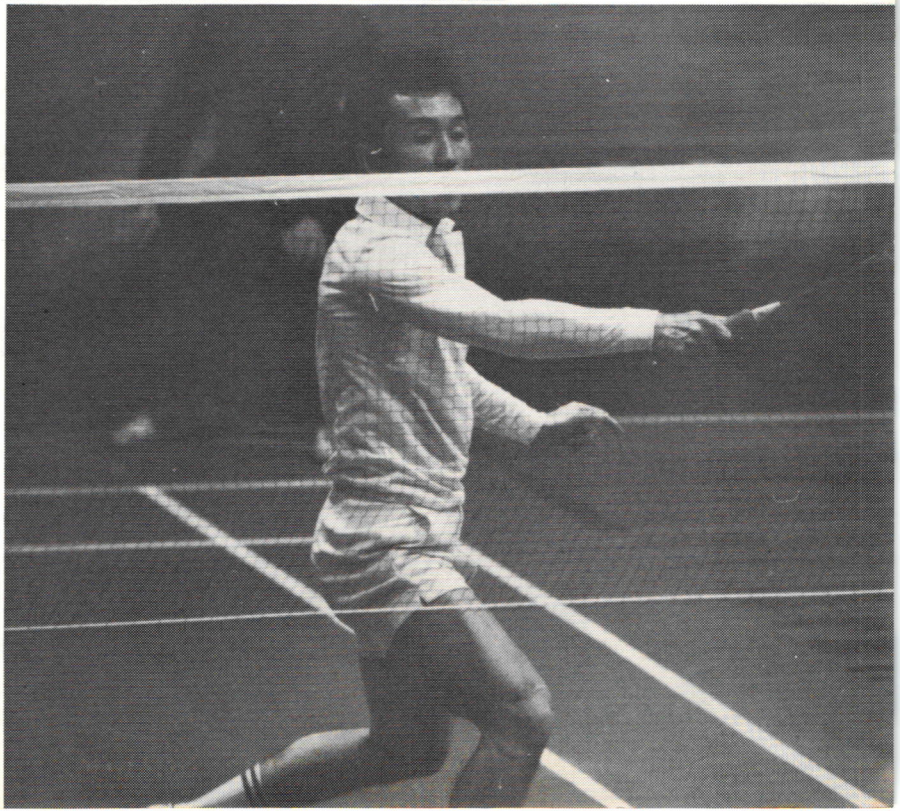
高級トーナメント用〈オレンジ〉¥500

株式会社ゴーセン

■本社●〒540 大阪市東区豊後町4☎(06)942-5816 代　■東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2☎(03)862-6576 代　■福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8☎(092)712-5247 代　■北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22☎(0762)47-0200 代



西村けんめいのスマッシュ

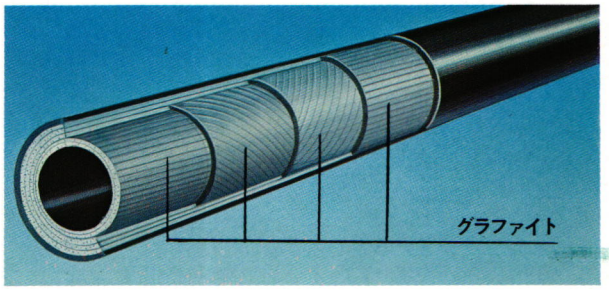


米山（和歌山）はよく走りよく打った

E RACKET

世界初の100%
グラファイトシャフト

画期的なものを生むためには冒険が必要です。B−82・B-80もこの例にもれません。グラファイトファイバー繊維は異方性にとむ性質で、配列しだいでは性能が大きく変わります。カワサキはこの難問を独特のクロス加工で解消。方向の異なるグラファイト繊維を4層に重ね合わせ、素材のもつ特性を最大限に引き出しました。これこそ世界が待ち望んでいた理想のラケット。スチールパイプにカーボンをまきつけただけというラケットとは威力が違います。この完成度の高さはカワサキならではのもの。



kawasaki
河崎ラケット工業株式会社

AFT

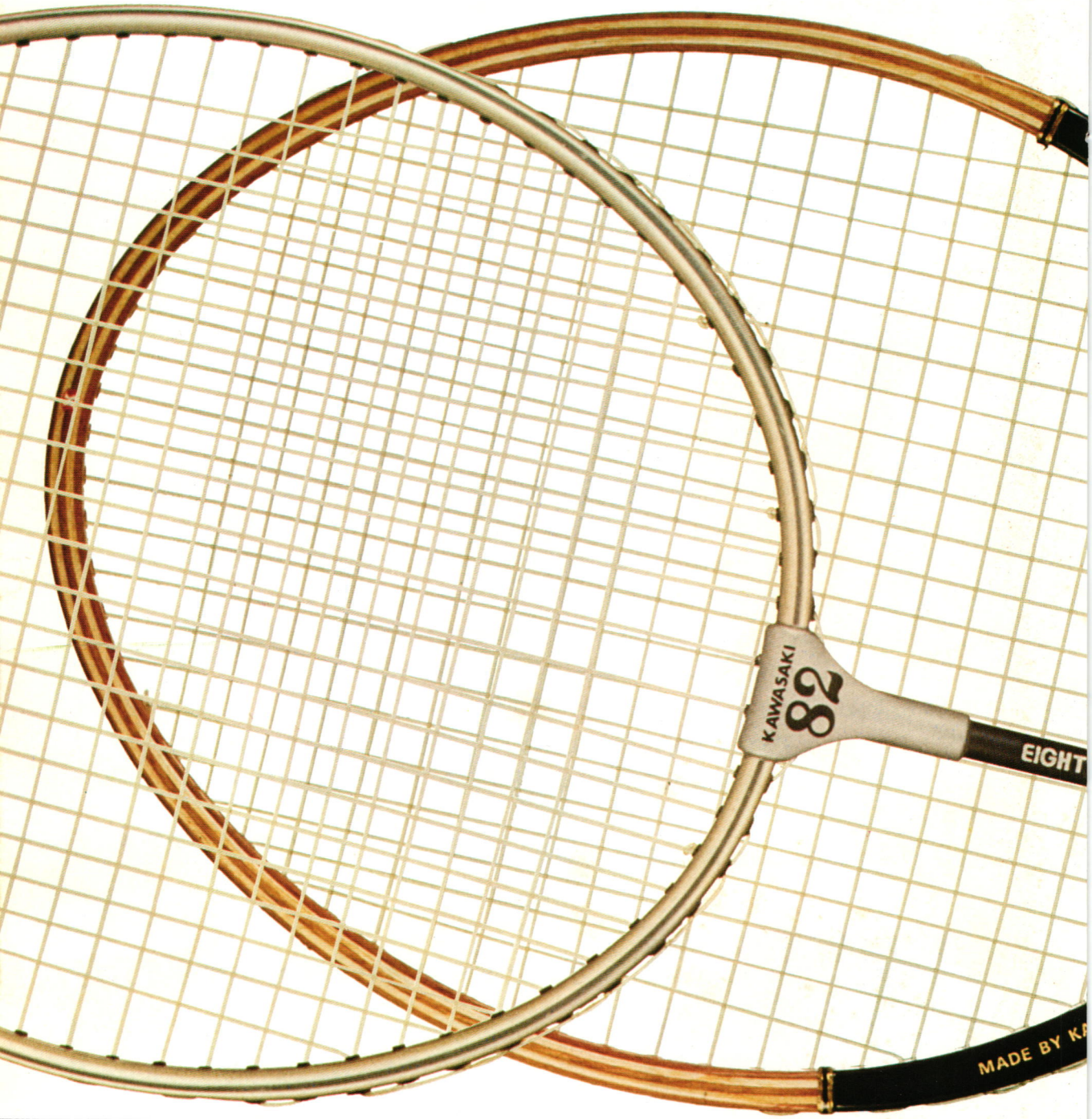
B-82

グラファイトシャフト アルミフレーム シルバー(ケース付)
フレーム価格8,000円 ガット張り上り価格8,700円

B-80

グラファイトシャフト ウッドフレーム 黒(ケース付)
フレーム価格7,700円 ガット張り上り価格8,400円

GRAPHIT



スイートスポットの広さがちがう

ALL GRAPHITE SHA



バドミントン界専用

合本バインダー

定価・500円

穴あけ不要・かんたんに・美しく保存

「バドミントン界」は読捨ての雑誌ではありません。毎月きちんと揃えて保存すれば、バドミントンの百科事典となるものです。

そのために本誌1年分12冊を、穴をあけたり、ノリを使ったりすることなく、簡単に保存しておくことのできる専用合本バインダーができました。

今回製作したものは、表紙の新しいデザインにあわせた写真のようなシャレたものです。

表紙は濃いブルーの特殊レザーを使用し、本誌と同じデザインを銀パクで押したものです。丈夫で長い間の保存に耐えることができます。

専用合本バインダーは1冊定価500円ですので、ご希望の方は下記の送料を加えて、本誌巻末に綴じ込みの振替用紙に必要事項を明記のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。

バドミントン界編集部

（送料1冊＝300円、3冊まで600円、4冊以上700円）



カレンダーが残りわずかとなりました

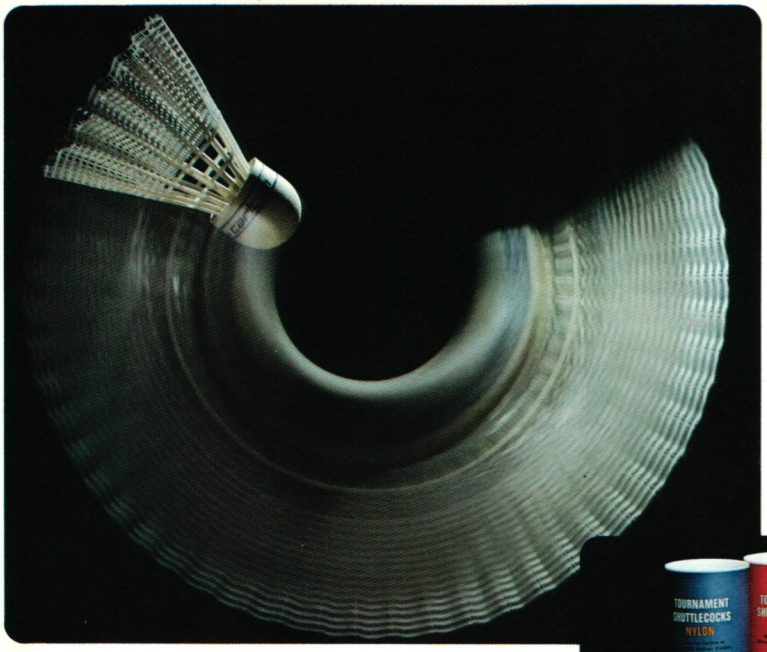
78年版バドミントンカレンダーは、おかげさまで大好評のうちにほぼ売切れとなりました。

新しいデザインや製本形式も多くの読者の皆様からご好評を得ることができました。

79年版は全ページカラーにする予定で撮影を進めております。

現在のところまだ少し残部がありますので、カレンダーご希望の方は、お早めに本誌巻末綴じ込みの振替用紙に必要事項ご記入のうえお申し込みください。

一部送料とも1200円です。



世界のカールトン

carlton

●PHOTO・左より——
ニュートーナメント、インターナショナル、クラブ



カールトンは水鳥？

ナイロンシャトルの時代は、もう始まっています。

カールトンのシャトルは、ガチョウ羽根の長所を完璧にとり入れ、スカート(羽根)の特殊構造と固めのベース(頭部)は、ネットぎわのすばやいターンオーバーと正確なスマッシュ、スピードを生むよう設計されております。さらに、水鳥シャトルよりも優れた2つの点、すなわち水鳥シャトルより安い価格と数倍もの耐久性に関しては、これ以上述べる必要はないでしょう。

ニュートーナメント
1個 ￥280

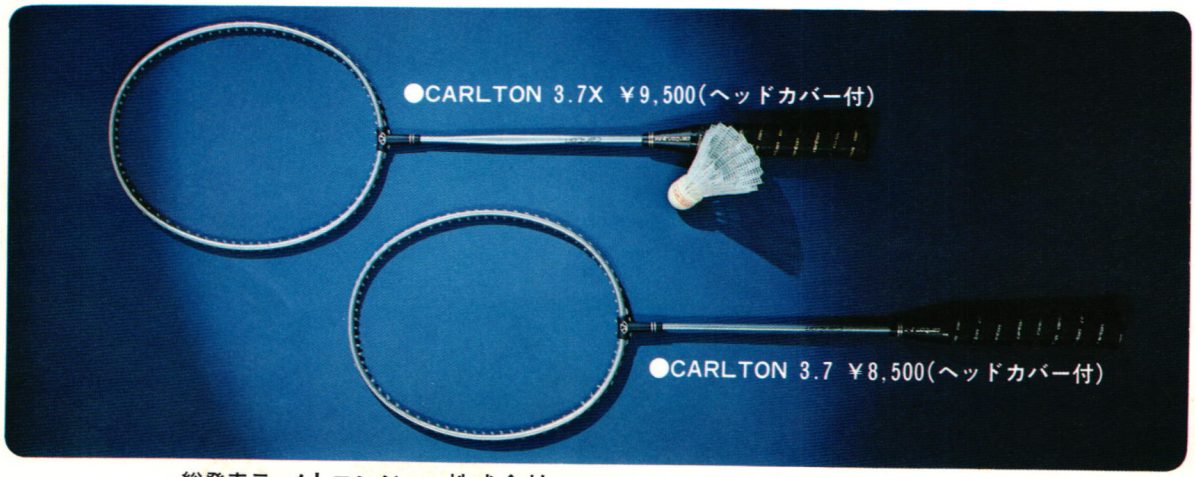
世界一の消費量を誇るナイロン・シャトルのベストセラー。水鳥球の数倍の耐久性をもち、しかも、最も飛び方が似ていると評価されています。この絶大な定評は他の追従を許しません。

インターナショナル
1個 ￥240

国産品とは比較にならないほど優れた性能をもち、しかも値段は国産品と変りません。耐久性はニュートーナメントよりも丈夫です。初・中級者のための試合・練習球としてどうぞ。

クラブ
1個 ￥200

数多いナイロン・シャトルの中でも、抜群の耐久性をもち、寒期でも優れた性能を発揮します。クラブは非常に長もちする、経済的なシャトルです。学校の授業や初心者の練習に最適です。



総発売元 メトロレジャー株式会社 東京都千代田区外神田5-6-4 TEL:(03)833-3661(代)



ウェディング・ケーキにナイフを

なぜか斉藤選手が大張り切り？



中山さん、天野さんもかけつけた



♥フレッシュ・コンビ相ついでゴールイン♥

昨年の暮れ、名実ともに日本一の座につき、さきの国際大会でも大活躍をした名コンビ、飯野佳孝選手（ヨネックス）と土田証雄選手（電電東京）が、今度は私生活面でも息の合ったところを見せ、飯野佳孝選手は陣内裕子さん（ヨネックス）と、土田証雄選手は、池田美加さん（河崎ラケット）と、結婚しました。

飯野佳孝選手と陣内裕子さんは一足早く、2月2日、九段・グランドパレスで、土田証雄選手と池田美加さんは2月17日、新宿・厚生年金会館で華やかに披露宴。

グランドパレスの席上では、本田弘敏会長の自慢のノドで、十八番「王将」が飛び出したり、学生の「ウォンテッド」ありの賑やかさ。

厚生年金でも、池田信孝選手の巧妙(?)な司会にリードされて、大変な盛り上がり。男子ナショナルチームのメンバーが、例によって砕けた口調で場内の爆笑を誘い、スポーツマン同士の結婚にふさわしく、明かるい雰囲気に包まれていました。



幸せな一瞬

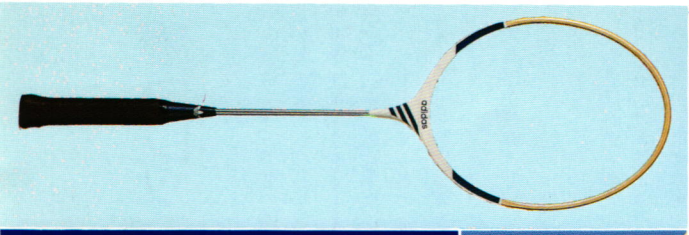


梅野尾夫人もお祝いを



ウェディング・キャンドルに灯を

ライバルを沈めろ。adidas®、破壊的なパワーで絶賛。



プレーヤー& 一般対象

MODEL-FB2000 ¥3,400〔ケース・ガット付〕

◎ストレートスティールシャフト◎フレーム：やはり強度としなりを兼ねそなえた合板フレーム。吟味された高級材質の堅牢性がラケットの変形防ぎます。◎グリップ：牛皮を使用し、触感・密着感にすぐれています。■グリップサイズ：G3のみ■重量：Mのみです。



トッププレーヤー対象

MODEL-FB1000 ¥5,400〔ケース付・ガット別〕

◎テーパードシャフト：先細、手元太でロングなシャフト◎フレーム：柔軟性と剛性を両立させた高級合板製◎グリップ：手にしっくりと馴染む高質牛皮■グリップサイズ：G2(太)G3(中)G4(細)■重量〔ガットなし〕L(120g以下)M(130g以下)H(130gを超すもの)



一般& ビギナー対象

MODEL-FB3000 ¥2,500〔ガット付〕

◎ストレートスティールシャフト◎フレーム：丹念にセレクトされた木質素材の合板フレームで強度を確保しました。◎グリップ：グリップには手に馴染みの良い牛皮を使用■グリップサイズ：G3のみ■重量：Mのみ

adidas®はどの1本をとっても素材が生きている。と、これは定説です。素材の持ち味。その良さを100%引き出す……技術陣にかせられたこの大きな難題に応えるものは独自のテクノロジーとバドミントンそのものへの情熱です。ラケットとは何かの原点から始まった形、構造への徹底追求。そして「いままでのモノは、ここがこう満足できない。で、こうして欲しい。」という現役トップの熱望……。すべて組みこみました。くまなく改良しました。バランスの良さ。なじむグリップ。この軽さ。いま、最新鋭のadidas®、いち早く使いこなすのがライバルを泣かす秘訣……

adidas® ®

MADE UNDER ADIDAS LICENCE

●お求めはadidas®特約店で。

製造業者 KG 兼松江商株式会社 発売元 KBG 兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2 5 3 ☎06-305-1431 〒101 東京都千代田区内神田1 11 13〈橋本ビル〉 ☎03-295-5611

いま、すべてのスポーツマンに3本線のNo.1感覚を

難問山積の時代に援護射撃を

東京運動記者クラブ・バドミントン分科会が正式に発足

世界団体選手権のトマス杯、ユーバー杯をはじめ、全日本総合個人、団体選手権、全日本学生選手権大会など各種の大会は新聞、ラジオ、テレビで報道される。選手の活躍や全日本代表チームの模様、日本協会の運営方針や計画などを報道するのがバドミントンを担当している各社の取材記者たちである。その取材記者たちの〝団体〟が誕生した。

四月一日付けで『東京運動記者クラブ・バドミントン分科会』が正式発足したのである。

といってもよほどの協会役員、選手、指導者でない限り『東京運動記者クラブってなあに』『分科会って…』『どんなことをするのか』とかいもく見当もつかないと思う。

そこでまず東京運動記者クラブとはなにか、からご説明しよう。こんな話はついつい〝堅く〟なり勝ちだが、しばらくご辛抱願いたい。東京運動記者クラブ（以下、単にクラブ）はスポーツ・体育の一切を取材している一般新聞社（朝日、読売、毎日各新聞など15社）とスポーツ新聞社（日刊、スポーツニッポン、デーリー、報知新聞社など7社）と通信社（共同、時事通信社）にテレビ・ラジオ社（NHK、TBS、12chなど10社）のマスコミ各社で組織した〝クラブ〟。このクラブに加盟している各社は東京に会社の所在地を持つものが対象で、しかも日本新聞協会に加盟していること。東京で日刊紙を発行する新聞社（ただし北海道新聞東京支社、西日本新聞東京支社を含む）通信社および電波、映像を出すラジオ、テレビ各社が対象。海外に対しては『JAPAN SPORTS WRITERS CLUB（略称J・S・W・C）』という。このクラブの末端構成員は、加盟各社の運動部員に限り、当該部長の責任ある推薦申請のあった者だけである。

さて、クラブはいくつかの分野に分かれている。その基準になっているのがスポーツの競技種目。クラブの『会則』に『本会は専門分科会を設けることができる』『専門分科会は、各競技種目別の取材、またはその他同一の目的の取材に当たるクラブ員をもって構成し、その名称は東京運動記者クラブ××××（競技名またはそれに準ずる名）記者会という』。

これまでバドミントン種目を取材する新聞、通信、ラジオ・テレビ社は多かった。とくに日本女子がニュージーランドでユーバー杯を獲得した後は、バドミントンの持つ社会的ウエートが大きくなり、より以上に多数となった。

だが、バドミントン取材記者で構成された分科会は、存在しなかった。その理由は？。バドミントンが社会の、マスコミの世界でそれだけの〝価値〟が認められなかった事が大きい。ひとつには日本協会の努力、選手や指導者の努力、取材記者たちの努力がかげにかくれ、それだけの評価を得られなかった結果かもしれない。

しかし、三、三年来の日本バドミントン界を取り囲む内外情勢は、めまぐるしいほどに変わる。たとえば外ではIBF、WBF、ABC、中国問題。またユーバー杯、トマス杯や世界選手権、全英など各国のオープン選手権。内では日本リーグetc。取材される側の日本協会や選手、指導者と取材する側のマスコミの両者が互によりよいコミュニケーションを持たねば、両者にとって情報交換などでマイナス面が出てくる。かつてのように〝なれ合い主義（いい表現でないかもしれないが）〟では事態が解決しない状況となった。この気持は日本協会、取材各社間で強く感じられるようになった。その結果が『正式な分科会の設置を…』に集約していった。この動きをクラブに伝え、今回その一分科会に認められたわけである。

分科会の活動は、すでに述べたが①日本国内での普及、技術向上、新戦力の紹介②日本バドミントン界の健全な発展の側面協力③IBF、WBF、ABCや対中国問題などに関する日本協会の説明会④全日本総合、全日本学生選手権などの説明、予想会⑤その他、必要に応じ説明、予想会などを開く―が当面のものである。対象は日本協会、実業団、学生、高校、中学連盟のほか、ママさんも含まれている。

分科会は年間経費二万円で運営され、年に一回総会を開くことになっている。分科会の会員は次の通りである。（　）内は担当記者。

共同通信社（竹市行男、尾形宏志）
時事通信社（徳原史郎）
朝日新聞社（小黒明、瀬下真男）
毎日新聞社（石渡明、鈴木志津子）
読売新聞社（小林範夫、後藤昌弘）
サンケイ新聞社（木村照夫）
東京新聞社（後藤忠弘）
東京中日新聞社（吉川伸）
日刊スポーツ新聞社（前田忠夫）
スポーツニッポン新聞社（武田幹雄）
報知新聞社（須田久夫、奥本浩平）
デーリースポーツ東京本社（安成芳史）
日本放送協会（川原忠輔、吉次昭道、松崎弘子）
東京12ch（若松明、大橋茂樹、藤吉次郎）

幹事社は共同・竹市、時事・徳原、東京・後藤の三人。（共同・竹市記）

シャトルコックを長持ちさせるコツ

シャトルの値段の高いことと、そのシャトルの破損は、いちばん悩まされることだが「バドミントン・ギャゼット」の2月号に、面白い投書がのっていたのでご紹介する。

シャトルコックを正しい方向に飛ばすには、どういう扱いをすればいいか、今までにも多くの興味ある手紙が寄せられている。羽根製シャトルコックの保存について、私も二、三助言をさし上げたい。

こわれやすさをなくして、長持ちさせるためには、しめり気のある状態で保存することが肝要。

プレーヤーが、新しいシャトルに息を吹きかけてしめり気をくれ、簡単にこわれないようにしているのをご覧になったこともあるかと思う。保存の過程で、これと同じ効果を与えるアイディアをご紹介しよう。

やかんの湯気で

まず、やかんに湯をわかし、シャトルコックを筒からすっかり取り出す。シャトルコックを一つずつ湯気のなかで2秒ほどひねる——それ以上だと接着剤が台無しになる。全部がすむと、筒に戻し、筒をやかんの上にかざして、数秒、湯気を入れる。そしてふたをして、筒を立てて保存する。使用する2日前には、こうやって湯気をしみこませ、接着剤も元通りになっているようにする。

スポンジを入れて

上ぶたの内側にスポンジを入れておくやり方。これが一番実際的だと思う。ただし、そのためにはアルミ箔で内張りした筒が必要。RSLターニーNo.1には箔が張ってあったのだが、製造中止になっている。この種のものにはインドネシア製があるだけだ。もし、お手持ちならば幸い。

受け皿に水を入れて

もし、そんな筒がなくても、がっかりするのは早い。受け皿に水を入れて、筒をその中に立てておいてもいいのだから。この場合、下の方のシャトルは、4つ、5つ取り出しておく。びしょぬれのシャトルでは困る。水は少量にしておくこと。筒がバラバラになる。

新聞紙をしめらせて

簡単な方法をもう一つ。シャトルは2つ、3つ取り出しておく。ふたをするかわりに、しめらせた新聞紙をまるめて、筒の両端に入れる。

どの方法も、われわれのクラブでテストずみ、実行中のもので、シャトルコックの節約に役立っている。新しいシャトルだけでなく、一度使ったものにでもよい。

プラスティック・シャトルの場合

軸（ステム）が2、3本折れると、飛行中のシャトルはその部分で平たくなる。そうなれば、コントロールがきかず、スマッシュがきまらないことはご存知のとおり。

よく見ると、コルクのすぐ上で軸が折れていることが多い。普通、スカート（羽根に相当する部分）は、軸に支えられて張り出しているが、折れた個所ではスカートに圧力がかかって、すぐにへこんでしまう。

折れた軸を切りとるとか、かみ切ることで、スカートに余分の圧力がかかるのを防ぐことだ。もちろん、ベースのまわり、2、3本を残して、すっかり、かみ切ってしまっても、シャトルが飛ぶなどということはない。ただ、折れればすぐ捨てられるシャトルも、こうして使えば、節約になるということだ。

バドミントンのお仲間の役に立つことを！

クルト・エーラー

専門家の立場から

クルト・エーラー氏の手紙を拝見。同氏及びクラブのご努力が世界中のクラブの範となることを期待する。

さて、ガチョウの羽根は、シャトルの製造に最も適した時で、重量の9・8%の天然の脂肪分があって、柔軟性と弾力を保っているものだ。こうした羽根で作られたシャトルは、ウッド・ショットなどの手痛いミス・ショットに会わなければ、長く使用に耐える。

だが、シャトルを、高温の中や、温度の低いところとか、暖房のいきとどいた店頭に置いておけば、その脂肪分を失い、もろく、こわれやすくなる。

エーラー氏の方法は、天然の脂肪分をとり戻そうとするものだが、経験によると、いったんもろくなった羽根は、すっかり元どおりになることはない。直すことに努めるよりも、失わぬようにすることだ。

シャトルが出荷される時には、最適の状態で出され、その後は、筒を50°F以下の低温、80°RHまでの高い湿度で保存することが必要だ。こんな条件がむりとなれば、小さな加湿箱を水を張った盆の上に置くのも安あがりの方法だ。

失なわれた脂肪分の補給の簡単な方法は、筒（ポリエチレン製やアルミ箔を張ったものはだめ）を、使う48時間前からぬれタオルでくるんでおくことである。

エーラー氏の方法で、やかんの湯気は、いただきかねる。氏の意見で最もよいのは、筒のな

かにシャトルを4つ、5つ残して、両端から湿気を与える方法だ。もし一方からだと、一番近いシャトルだけがよくなるか、かえって、びしょぬれになる恐れがある。

RSLは、不良品を作ったという、いわれのない罪をかぶせられることがあるが、大ていが火の前でシャトルをあたためたとか、暖房器の上に置き放しにしたとか、暖房のきいた店においたとか、無知と無責任な取り扱いが、本当の原因である。

最後にひとつ。もし、クラブが、すべて、スロー・シャトルを使わずに、競技規則に従って、飛行距離をテストずみのシャトルを使えば、羽根製シャトルで少なくとも25%、プラスティック・シャトルではそれ以上の損失が防げる。それに、適切なシャトルを使えば、快適なゲームが楽しめるというものである。

イアン・マコナキー
〈訳・友枝康子〉

〝すべて満足〟というわけにはいかない

イングランド女子チームも、ユーバー杯めざし頑張っているが、同チームのコーチ、マネジャーであり、選手選考委員のジュディ・ハッシュマン夫人が、選考する者の立場から「バドミントン・ギャゼット」2月号に意見を述べている。これはわが国の指導者・プレーヤーにもなかなか示唆に富んだものと思われるので、全文ご紹介する。

忙しかったシーズンのうち、3か月が過ぎて、この機会に、これからのシーズンの選考についていささか考えを述べてみたい。

誰がどのような選考を行なっても、誰もが納得してくれることはないものだ。2人を選べばNo.3が不満をもらし、4人を選べば、No.5が、10人を選べば、No.11が不満をいだく。どんな理由も、はずれた者にとっては、認めがたいものらしい。

理解してほしいのは、選考にあたる者は、いろいろなことを頭に入れて行なうのだということだ。試合の6週間前には、まとめておかねばならないし、組合せの問題もある。選手自身で作った組合せが、うまくいくとは思えない。

2つの問題

また、よくある問題に、外国から、特定の「ネーム・プレーヤー」だけが招かれることがある。その結果、自分の国で選んだわけでもない「イギリス・グループ」が、外国でプレーをするという事実が生ずるとともに、われわれの計画に影響を及ぼすことになる。

もう一つの理由は、州の代表という点を考慮しての選考ということだ。ナショナル・チームのプレーヤーの出身地など、誰も意に介さないだろうに。チームの大半が一つの州から出ていても、誰が気にするだろう？現実に私など、彼らの出身地を知らない。それほどに取るに足らないことなのである。一人のプレーヤーが、遠征に選ばれたから、選ばれなかったからと、目くじらを立てる。おわかりでしょうか、われわれが常に正しいなんてことはありえないのが！

現在のため——そして将来のために

プレーヤーも、州や国の役員も、コーチも、われわれの仕事は、現在のためであると同時に将来へ向けてのものだということを知ってもらわねばならない。プレーヤーは現在をかけてプレーをする——そうしなければならない。しかし、彼らには、今週の、来月の、来夏の、3年後のわれわれが用意したプランに加わってもらうかも知れないのである。人数や、パートナーの有無、相手プレーヤーのタイプ、成績などによって、いろいろな遠征に参加するだろう。

州のあつれき

ナショナル・チームの役員は、現在と同時に将来への計画を立てる。一九八〇年ユーバー杯が、今シーズンの計画のなかで重要視されるべきだと言明した理由はほかにない。州の役員は、プレーヤーと同じく、現在の計画をねる。しかし、そのプレーヤーたちが、遠征や、試合、ナショナル・チームの特訓に必要なのだ。そこが彼らの舞台なのだから。州の試合日程を確かめておく必要があるのに、それを忘れて、われわれの選考をしてしまう。今、ナショナル・チームの結成をしているところだ——ヨーロッパ選手権、英連邦試合、来年のトマス杯。

両者の歩み寄りが必要。州役員であり、かつての州プレーヤー、州選考委員として、私には彼らの問題がよくわかる。しかし、今私のかかえている問題は一段上の問題であり、プレーヤーが希望すれば、第一に優先すべきだと考える。決定は、外部の圧力なしに、プレーヤー個人がすることだ。

コーチの立場

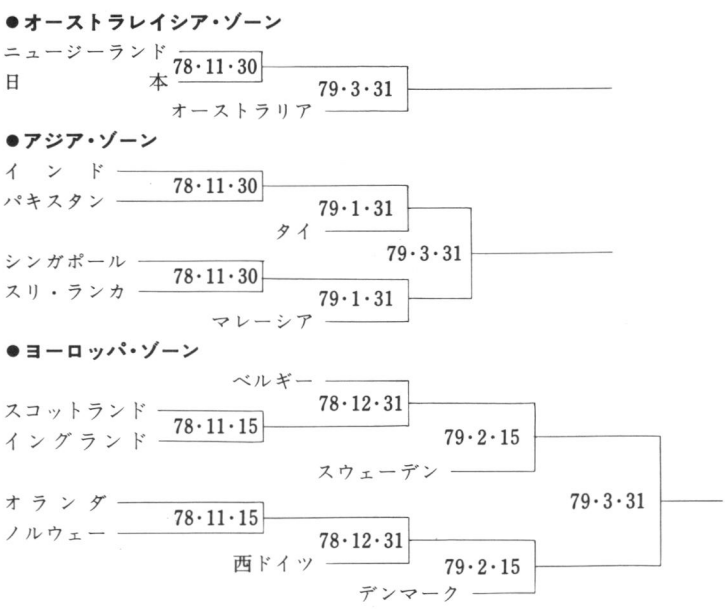
コーチにとって、プレーヤーのプランが、現在だけではなく、将来につながるものであると望んでいる。コーチのプランは、プレーヤーたちを、心理的、生理的負担にまき込む。特殊なストロークを身につける、ショットの幅を広げる、特別な失点を克服し、得点の入れ方を研究する。プランは、詳細で複雑にならざるをえない。

同時に、プレーヤーたちに、国家的な場に臨んで、勝つも負けるもいずれも、どのスポーツ

でも大事な眼目であることを学んでもらわねばならない。プレーヤーたちの怒りの矢面に立つのは、選考者ではなく、コーチなのだ。

今シーズンのこれまでの選考を見て、プレーヤーたちは、自分たちがいつも見られているということ、いつもチャンスがあるということがわかったと思う。いろいろなアイディアも、批評も、建設的であるべきで、個人レベルでの言いがかりには耳を貸さない。さまざまな面から見て決定が行われる。まあ、絶対に正しいということはありえない。また、間違ってもいないと思うが。

〈訳・友枝康子〉



上記の日付はいずれも開催期限であり、開催日ではありません。アメリカ・ゾーンは後日決定。

トマス杯組合せ決まる

トマス杯（男子の世界選手権大会）が来年に迫っているが、その予選の組合せが上図のとおりIBFから発表になった。

日本はオーストラレイシア・ゾーンから出場し、1回戦でニュージーランド、決勝でオーストラリアと対戦する。

アジア・ゾーンではマレーシアが有力だが、インド、パキスタンも実力をつけてきており、激戦が予想される。

しかし、なんといっても最大の激戦区はヨーロッパ・ゾーンである。

イングランド、スウェーデン、西ドイツ、デンマークがひしめいており、どの国がインターゾーンに進出するか予選から楽しみである。

大会カレンダー

▽国内大会

第9回全日本女子チャンピオンズトーナメント兼ユーバー杯選手団壮行試合（4月30日・横浜）

第28回全日本実業団バドミントン選手権大会（6月13日～18日・東京）

第29回全国高等学校バドミントン選手権大会（8月3日～8日・会津若松市）

第17回全日本教職員バドミントン選手権大会（8月10日～14日・仙台市）

第8回全国中学生バドミントン選手権大会（8月18日～20日・名古屋市）

第21回全日本社会人バドミントン選手権大会（8月26日～29日・大津市）

全日本バドミントンオールスターダブルス'78（9月10日・東京）

第8回アジア競技大会バドミントン競技選手選考会（9月15日～17日・東京）

第33回国民体育大会バドミントン競技（10月16日～19日・塩尻市）

第29回全日本学生バドミントン選手権大会（10月16日～22日・名古屋市）

昭和53年度全日本総合バドミントン選手権大会・個人戦（11月14日～19日・東京）

昭和53年度全日本総合バドミントン選手権大会・団体戦（昭和54年2月17日～18日・東京）

第7回全国高等学校選抜バドミントン競技会（昭和54年3月）

▽国際大会（国内）

第6回日中バドミントン競技大会（6月27日～7月11日）

日韓高校バドミントン交歓競技大会（8月20日～25日・関東京浜地区）

第8回国際バドミントン競技大会（昭和54年1月中旬～下旬）

▽国際大会（国外）

第8回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会アジア地区決勝戦（4月8日・クアラルンプール）

第3回アジア招待バドミントン競技大会（4月15日～25日）北京）

第8回世界女子バドミントン選手権（ユーバー杯）大会（5月13日～21日・ニュージーランド・オークランド）

第8回アジア競技大会（12月9日～20日・バンコク）

第27回デンマークオープンバドミントン選手権大会（昭和54年3月7日～10日・コペンハーゲン）

第69回全英バドミントン選手権大会（昭和54年3月21日～24日・ウェンブレー）

勇壮活発なこの雑誌に、しばらくの間、私が演劇＝戯曲について語ろうとするのは、たいへん場違いなことかも知れない。だが、スポーツと演劇との間に共通点がないわけでもない。「打てば響く」という言葉は芝居にも通用するし、競技に対立が必然であると同じく、芝居もまた対立を離れては存在しないと言えるのだ。

春は桜の季節。桜の花を見て、私たちはしみじみと春を感じる。アントン・チェーホフ（一八四一～一九〇四）という帝政時代のロシアの作家に「桜の園」という四幕の戯曲があり、これは彼の最後の作品になった。

そのいちばんはじめの部分にこう書かれている。「夜明け。ほどなく日の昇る時刻。もう五月で、桜の花が咲いているが、庭は寒い」緯度の違いもあって、日本より開期が遅く、しかも花はほとんど純白であるらしい。

広大な「桜の園」に囲まれた生家に、この劇の女主人公ラネーフスカヤ夫人は、数年振りに外国から帰って来たのだ。

「ああ、わたしの子供のころ、清らかな時代！わたし、この子供部屋に寝て、ここから庭を眺めたものよ。あの頃は幸福が、毎朝私と一しょに目をさましたっけ。庭もこの通りだった。そっくりそのまま。（嬉しさのあまり笑う）まっ白、一めんに真っ白ね！ああ、わたしの庭！暗いうっとうしい秋や、寒い冬を越して、またお前は若々しく、幸福で一ぱいだわ。天使たちが、お前を見すてなかったのね。……ああ、わたしの胸や肩から、この重石がとりのけられたら！わたしの過去を、きれいに忘れることができたら！」

（神西清氏訳）

この劇には台詞のある役だけで、十七歳の少女から八十七歳の老僕まで十数人が登場する。そして第四幕、冬近くなって、夫人はまた外国へ向って旅立つ。桜の園は人手に渡ってしまったのだった。

演劇随想1

「桜の園」

放送作家　寺田太郎

いっぱんに、小説などと違って、戯曲というものは、はじめはなんとなく読みづらく入りにくい感じがつき纏うのだが、それをおして読んでみれば、私たち読者にゆだねられる可能性がひじょうに広く深いことが判ってくるのである。つまり、読者の参加の場が深く広いのである。

ある程度の努力は必要だが、スポーツで鍛え上げた精神の持ち主にはお茶の子さいさいと言えよう。外国の人名が覚えにくかったら、いちいち人物表を参照することだ、そして自分なりに暗記してしまうのである。

私たちの体験には、現体験と追体験とがある。教養としては、現（直接）体験は後者に較べればごく狭く浅いと言うべきであって、芸術に親しむことによって、私たちはさらに深い追体験の世界にはばたくことが可能になるのだ。

チェーホフは医科大学に学んだ作家であった。彼がモスクワ芸術座における「桜の園」の稽古に立ち合い、初演の舞台を見たのは一九〇四年一月一四日、彼の第四十四回の誕生日の当夜だった。彼は、自分の余命のいくばくもないことを、医学出身者として知っていた。そしてこの年七月二日未明、妻にみとられて世を去った。妻オリガ・クニッペルはモスクワ芸術座の名女優でラネーフスカヤ夫人役をはじめ、チェーホフの数かずの作品に出演している。

「桜の園」はわが国でも愛好され、女優東山千栄子さんは、昭和二年以来、日本のラネーフスカヤ夫人として三百回を越す舞台歴を持っておられる。

（なお、チェーホフの作品は、ほとんど総ての文庫本に加えられているので、入手は簡単である。）

返球の場所とフライトの種類

日本体育大学女子監督　関根義雄
国分寺市バドミントン協会　平川卓弘

はじめに

どの選手にとっても試合中に相手の攻撃をかわし、また、どのように攻めたらよいか頭のいたい問題です。はげしいラリーの応酬の中で、鋭い判断が要求されるわけです。

シャトルを返球する場合に、三つの要素が考えられます。相手コートのどの場所へ、どんな種類の球を、どのくらいの速さで送り込むかということです。

今回は、これらの要素のうち、返球する場所とフライトの種類を分析してみました。

●分析1 返球の場所

図—1は相手コートを9分割して、そのどの場所へ、どれだけ多くシャトルが飛んでいったかを調べたものです。調査の対象になったゲームは、前号と同じ女子ダブルスです。（昭和51年12月全日本決勝戦）

栂野尾・植野組は相手コートのバックサイドから後方にかけて攻撃しています。

湯木・池田組は相手コートの中央部を最も多く攻めています。攻撃の武器は表—1に示す通りスマッシュが中心になっています。

ダブルスでは湯木・池田組のように、スマッシュをセンターに集め、前衛の者が、相手側のレシーブを止めるのが最もオーソドックスな戦法ですが、栂野尾・植野組のように、相手側のレシーブの弱いサイドにシャトルを集めて、パートナーがフォアのネットへの返球を読み、そのコースに入るのも一つの攻撃のパターンとして有効であります。

ダブルスにおいても、シングルスにおいてもコートを区切り、番号を決め、その場所を攻める練習方法も役立つものと思われます。

●分析2 返球の種類

女子ダブルス

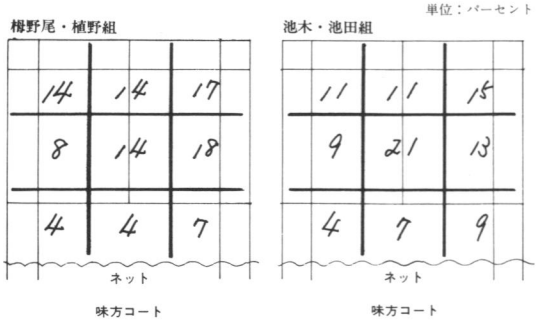
表—1は女子ダブルスのものです。表の読み方を説明します。例えば、ショートサービスの所を見てください。栂野尾選手に対してショートサービスが14回打たれました。そのうちプッシュで返球したのが12回、ヘアピン1回、アンダードリブンクリアーが1回であったということを示してあります。そして、それぞれのチームの右側に2人の選手が打った数を小計として示してあります。全選手の合計は最も右側にあります。

この試合できわ立って目立つのがサービスの違いです。湯木・池田組はショートサービスを中心に、栂野尾・植野組はロングサービスを中心に考えてゲームを展開しています。

栂野尾・植野組の受けたショートサービスが32本、これに対して湯木・池田組は4本です。また、ロングサービスは逆で湯木・池田組が受けた本数が38本、栂野尾・植野組は6本です。この考え方が両チームの試合展開を決定づけています。

図1　相手コートへ送り込んだフライトの割合(サービスを含む)

単位：パーセント



4 選手の比較

図―2は主なリターンを円グラフで現わしたものです。

スマッシュのリターン

湯木・池田組はネットを利用していますが、栂野尾・植野組はほとんどクリアーで返しています。

ドロップ・ショットのリターン

栂野尾選手はドロップの93％をクリアーで、植野選手も91％をクリアーで打ち上げています。これに対して湯木選手は67％、池田選手も73％のクリアーでしかありません。むしろ、両選手はネットプレーに誘い込んでいます。

プッシュのリターン

湯木選手が持っている技の多さをよく示し

表1 女子ダブルス

	栂野尾	植野	小計	湯木	池田	小計	合計
ショートサービス	14	18	32	—	4	4	36
プッシュ	12	14	26	—	4	4	30
ヘアピン	1	2	3	—	—	—	3
クロスネット	—	1	1	—	—	—	1
アンダードリブンクリアー	1	1	2	—	—	—	2
アンダードライブ	—	—	—	—	1	1	1
ドライブサービス	—	—	—	3	3	6	6
ドリブンクリアー	—	—	—	1	—	1	1
スマッシュ	—	—	—	1	3	4	4
ドライブ	—	—	—	1	—	1	1
ロングサービス	4	2	6	21	17	38	44
スマッシュ	4	2	6	17	13	30	36
ドロップ・ショット	—	—	—	4	4	8	8
プッシュ	16	8	24	19	17	36	60
アンダークリアー	2	2	4	3	1	4	8
ドライブ	3	2	5	1	5	6	11
アンダードライブ	2	—	2	2	3	5	7
ストップ	3	1	4	1	1	2	6
アンダードリブンクリアー	—	—	—	3	2	5	5
プッシュ	1	1	2	2	1	3	5
ハイクリアー	2	—	2	2	—	2	4
ドリブンクリアー	1	1	2	1	1	2	4
ヘアピン	2	1	3	—	—	—	3
スマッシュ	—	—	—	1	2	3	3
クロスコート	—	—	—	1	1	2	2
アンダーカット	—	—	—	1	—	1	1
クロスネット	—	—	—	1	—	1	1
アンダークリアー	18	22	40	27	27	64	104
スマッシュ	15	21	36	28	23	51	87
ハイクリアー	3	1	4	2	3	5	9
ドライブ	—	—	—	6	1	7	7
ドリブンクリアー	—	—	—	1	—	1	1
ハイクリアー	5	10	15	10	9	19	34
スマッシュ	4	4	8	5	6	11	19
ドロップ・ショット	1	4	5	1	2	3	8
ハイクリアー	—	2	2	1	1	2	4
ドライブ	—	—	—	2	—	2	2
ドリブンクリアー	—	—	—	1	—	1	1
ドロップ・ショット	22	23	45	15	15	30	75
アンダークリアー	18	15	33	8	9	17	50
アンダードリブンクリアー	1	6	7	2	1	3	10
ヘアピン	1	—	1	2	3	5	6
プッシュ	—	1	1	1	1	2	3
クロスネット	—	1	1	1	—	1	2
ドリブンクリアー	1	—	1	—	1	1	2
アンダーストップ	1	—	1	—	—	—	1
クロスコート	—	—	—	1	—	1	1

表1（つづき）

アンダードリアン クリアー	10	10	20	22	22	44	64
スマッシュ	6	6	12	8	13	21	33
ドロップ・ショット	1	1	2	7	—	7	9
ハイ クリアー	2	2	4	1	3	4	8
ドライブ	—	—	—	4	3	7	7
アンダー クリアー	1	1	2	1	2	3	5
ドリアン クリアー	—	—	—	1	1	2	2
ヘアピン	7	4	11	5	11	16	27
アンダー クリアー	3	1	4	1	7	8	12
クロスネット	1	2	3	1	—	—	3
プッシュ	1	—	1	—	2	2	3
アンダードリアン クリアー	1	1	2	—	—	—	2
アンダードライブ	—	—	—	1	1	2	2
ドライブ	—	—	—	1	—	1	1
クロスコート	—	—	—	1	—	1	1
スマッシュ	1	—	1	—	—	—	1
ヘアピン	—	—	—	—	1	1	1
アンダー クリアー	—	—	—	1	—	1	1
スマッシュ	65	56	121	20	32	52	173
アンダードライブ	26	15	41	3	7	10	51
アンダードリアン クリアー	11	18	29	3	7	10	39
アンダー クリアー	14	6	20	6	4	10	30
ドライブ	4	6	10	1	7	8	18
アンダーカット	4	2	6	4	5	9	15
ドリアン クリアー	5	3	8	—	1	1	9
プッシュ	—	3	3	1	1	2	5
ストップ	1	3	4	1	—	1	5
クロスネット	—	—	—	1	—	1	1
ドリアン クリアー	7	5	12	6	6	12	24
ハイクリアー	5	2	7	1	2	3	10
ドライブ	—	2	2	3	1	4	6
スマッシュ	1	1	2	—	2	2	4
ドロップ・ショット	1	—	1	2	1	3	4
クロスネット	3	1	4	3	3	6	10
ヘアピン	3	1	4	—	1	1	5
アンダー クリアー	—	—	—	1	2	3	3
アンダードライブ	—	—	—	1	—	1	1
クロスコート	—	—	—	1	—	1	1
アンダードライブ	12	11	23	20	23	43	66
スマッシュ	4	1	5	5	7	12	17
ドロップ・ショット	3	1	4	7	3	10	14
ドライブ	2	1	3	2	5	7	10
プッシュ	1	5	6	1	2	3	9
アンダードリアン クリアー	1	1	2	—	2	2	4
ストップ	—	—	—	1	2	3	3
アンダーカット	—	1	1	1	—	1	2
クロスコート	—	—	—	1	1	2	2
アンダー クリアー	1	—	1	1	—	1	2
ハイクリアー	—	1	1	1	—	1	2
アンダードライブ	—	—	—	—	1	1	1
ドライブ	20	30	50	17	17	34	84
ドライブ	5	11	16	6	3	9	25

表1（つづき）

ドロップ・ショット	3	5	8	3	3	6	14
プッシュ	3	3	6	3	2	5	11
スマッシュ	3	4	7	2	2	4	11
ストップ	2	0	2	2	2	4	6
ドリアン クリアー	—	4	4	—	2	2	6
アンダー クリアー	2	1	3	—	1	1	4
アンダードリアン クリアー	1	—	1	1	1	2	3
ハイクリアー	—	2	2	—	—	—	2
アンダーカット	—	—	—	—	1	1	1
ヘアピン	1	—	1	—	—	—	1
アンダーカット	5	8	13	2	6	8	21
アンダー クリアー	2	3	5	—	—	—	5
ヘアピン	1	2	3	—	2	2	5
クロスネット	1	1	2	2	—	2	4
プッシュ	1	—	1	—	2	2	3
スマッシュ	—	1	1	—	—	—	1
アンダードリアン クリアー	—	1	1	—	—	—	1
ドライブ	—	—	—	—	1	1	1
アンダーカット	—	—	—	—	1	1	1
ストップ	5	2	7	1	5	6	13
アンダー クリアー	1	1	2	—	2	2	4
アンダードライブ	2	1	3	—	1	—	3
プッシュ	—	—	—	1	—	1	2
ヘアピン	—	—	—	—	1	1	1
クロスネット	1	—	1	—	—	—	1
アンダードリアン クリアー	—	—	—	—	1	1	1
アンダーカット	1	—	1	—	—	—	1
クロスコート	4	—	4	—	—	—	4
ヘアピン	1	—	1	—	—	—	1
スマッシュ	1	—	1	—	—	—	1
ドライブ	1	—	1	—	—	—	1
アンダー クリアー	1	—	1	—	—	—	1

ています。図では12種類に打ち分けています。他の選手では池田選手9種類、栂野尾選手7、植野選手6となっています。

ダブルスでは相手側からのシャトルをなるべく相手側コートに沈めて、攻めるチャンスを作り出すリターンがよいわけですが栂野尾組は一つの戦法として、無理をせずに一番安全で確実なコースにシャトルを上げる受け身の方法をとったものと思われます。

また、バドミントンにとって、一つの場所からいろいろな球種で、いろいろなコースに打ち分けることは、攻める上でも相手のヨミをかわす上でも重要です。湯木選手のシングルスの強さは、このあたりにあると思われます。

男子ダブルス

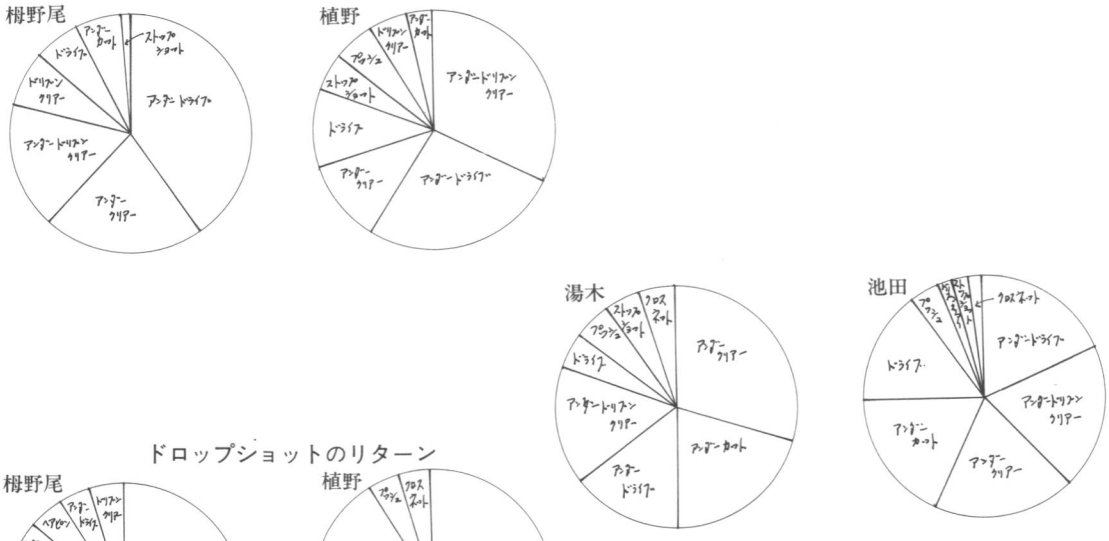
図―3は男子のリターンの主なものを示したものです。表―2はこれの基の資料です。

スマッシュのリターン

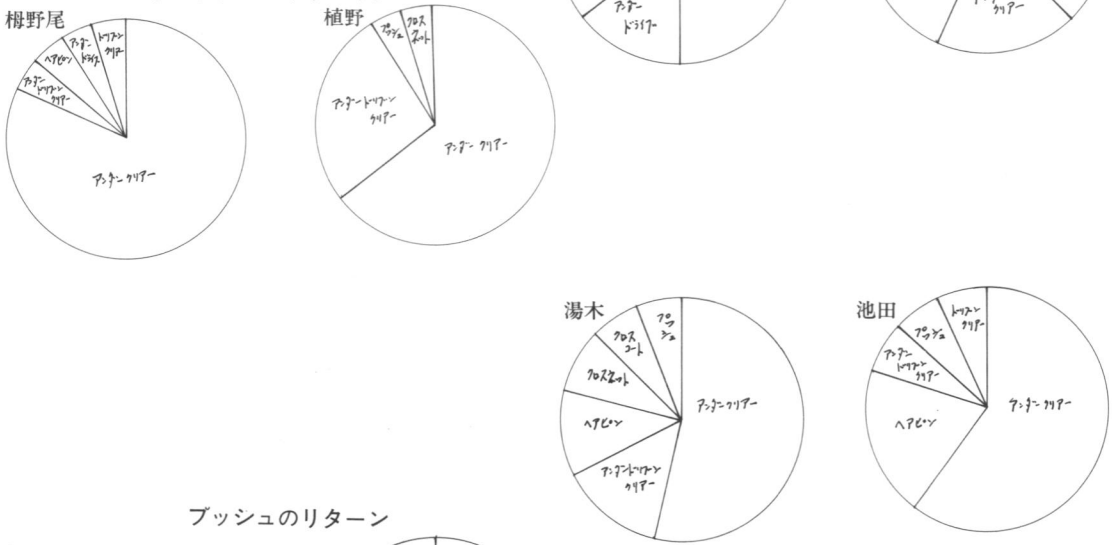
キールストロム選手は他の3人の選手と違い、よくネットプレーに持ち込んでいる様子がうかがえます。

図2　女子ダブルス

スマッシュのリターン



ドロップショットのリターン



ブッシュのリターン

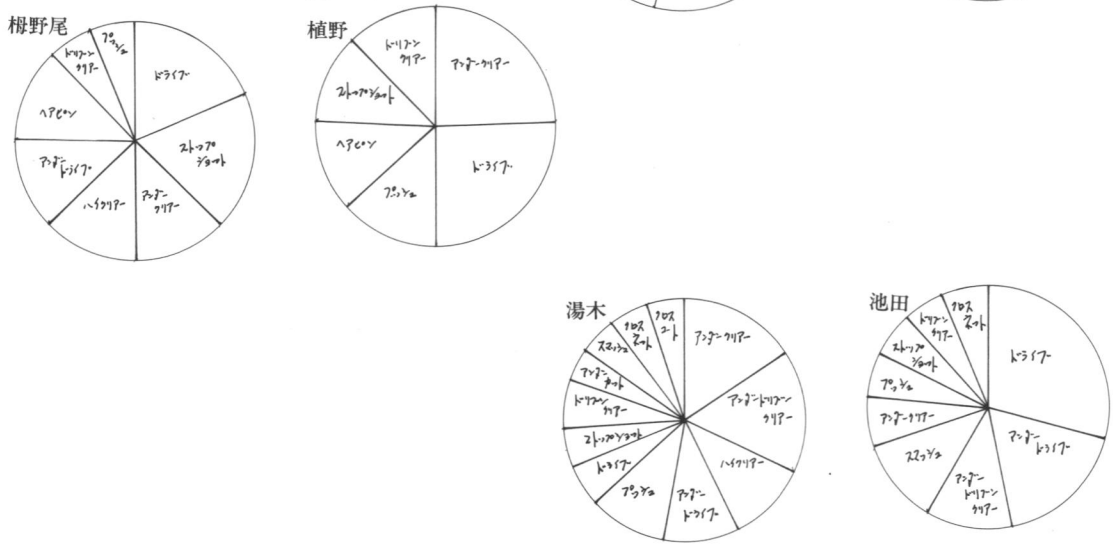


図3　男子ダブルス

スマッシュのリターン

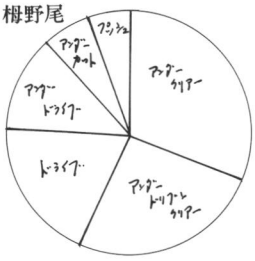
キールストローム



フローマン



梅野尾

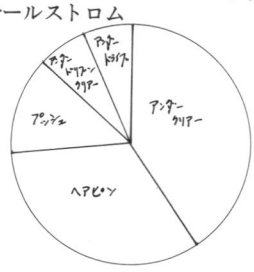


池田

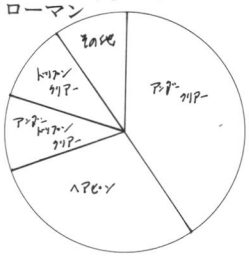


ドロップショットのリターン

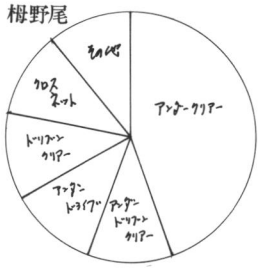
キールストローム



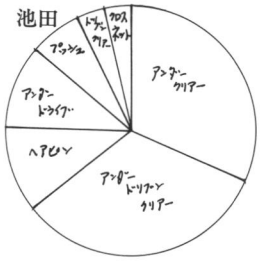
フローマン



梅野尾

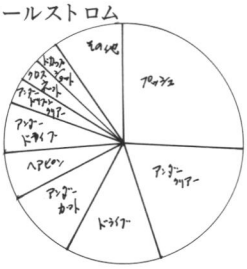


池田

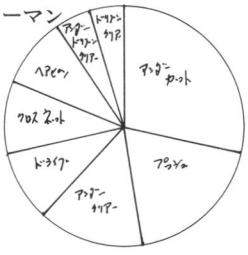


プッシュのリターン

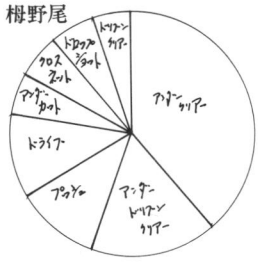
キールストローム



フローマン



梅野尾



池田

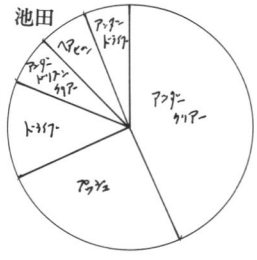


表2（つづき）

ドロップアタック	15	10	25	9	28	37	62
アンダークリアー	6	4	10	4	9	13	23
アンダードリブンクリアー	1	1	2	1	9	10	12
ヘアピン	5	3	8	—	3	3	11
アタック	2	—	2	—	2	2	4
アンダードライブ	1	—	1	3	1	4	5
ドリブンクリアー	—	1	1	—	1	1	2
スマッシュ	—	—	—	1	—	1	1
クロスネット	—	—	—	1	—	1	1
ドライブ	—	—	—	1	1	2	2
その他	—	1	1	—	—	—	1
ヘアピン	16	7	23	12	16	28	51
アンダークリアー	5	2	7	7	6	13	20
アタック	7	2	9	2	2	4	13
ヘアピン	2	1	3	2	5	7	10
アンダードロップクリアー	2	1	3	1	1	2	5
クロスネット	—	—	—	—	1	1	1
その他	—	1	1	—	—	—	1
クロスネット（コート）	1	3	4	2	3	5	9
アンダークリアー	1	1	2	1	1	2	4
アンダードリブンクリアー	—	—	—	—	—	—	1
アタードライブ	—	1	1	—	—	—	1
クロスネット	—	1	1	—	—	—	1
スマッシュ	—	—	—	—	1	1	1
ドライブ	—	—	—	1	—	1	1
アンダーカット	4	3	7	7	10	17	24
アタック	2	1	3	2	2	4	7
アンダークリアー	—	—	—	2	4	6	6
ヘアピン	2	1	3	1	1	2	5
ドロップアタック	—	1	1	—	2	2	2
クロスネット	—	1	1	—	—	—	1
ハイクリアー	—	—	—	1	—	1	1
アンダードライブ	—	—	—	—	1	1	1
ドリブンクリアー	—	—	—	1	—	1	1
ドライブ	20	9	29	7	9	16	45
ドロップアタック	5	3	8	3	4	7	15
アタック	5	1	6	2	2	4	8
ドライブ	3	—	3	2	2	4	7
スマッシュ	3	2	5	—	1	1	6
ヘアピン	1	1	2	—	—	—	3
アンダークリアー	1	1	2	—	—	—	3
クロスコート	1	1	2	1	—	1	2
アンダードロップアタック	1	—	1	—	—	—	1
アンダードライブ	10	4	14	4	4	8	22
スマッシュ	5	—	5	2	1	3	7
ドロップアタック	2	3	5	1	1	2	7
アンダーカット	1	—	1	—	2	2	3
ドライブ	1	1	2	1	—	1	3
アタック	1	—	1	—	1	1	2
ヘアピン	—	—	—	—	1	1	1
アンダードリブン クリアー	11	10	21	7	3	10	26
スマッシュ	3	4	7	1	—	1	14

表2 男子ダブルス

	キールストローム	フローマン	小計	梅野尾	池田	小計	合計
ショートサービス	9	9	18	20	16	36	54
アタック	5	7	12	12	15	27	39
ヘアピン	4	2	6	6	—	6	12
ドライブ	—	—	—	—	1	1	1
ドリブンクリアー	—	—	—	1	—	1	1
アンダークリアー	—	—	—	1	—	1	1
ドライブサービス	3	2	5	3	1	4	9
スマッシュ	1	2	3	3	—	3	5
ドロップアタック	2	—	2	—	—	—	2
アタック	1	—	1	—	—	—	1
ロングサービス	2	8	10	2	5	7	17
スマッシュ	2	7	9	1	4	4	13
ドロップアタック	1	—	1	1	1	2	2
ドライブ	—	1	1	1	—	1	2
アタック	21	21	52	18	16	24	86
アンダークリアー	6	3	9	7	7	14	23
アタック	8	4	12	2	4	6	18
ドライブ	4	2	6	2	2	4	10
アンダーカット	3	6	9	1	1	2	10
アンダードリブンクリアー	1	1	2	3	1	4	6
クロスネット	1	2	3	1	1	2	4
ヘアピン	2	2	4	1	1	2	6
アンダードライブ	2	—	2	1	1	2	5
ドロップアタック	1	—	1	1	1	2	3
ドリブンクリアー	—	1	1	1	—	1	2
その他	3	—	3	—	—	—	3
アンダークリアー	24	45	69	23	7	30	99
スマッシュ	14	40	54	15	4	19	73
ドロップアタック	9	5	14	7	2	9	23
ハイクリアー	1	—	1	—	2	2	3
アンダークリアー	—	—	—	1	1	2	2
ドライブ	—	—	—	—	1	1	1
ハイクリアー	2	4	6	1	3	4	10
スマッシュ	1	4	5	1	3	4	9
ハイクリアー	1	—	1	—	—	—	1
スマッシュ	25	7	32	16	48	64	96
アンダークリアー	3	2	5	5	11	16	21
アンダードライブ	6	2	8	2	6	8	16
アンダーカット	6	1	7	1	7	8	15
ドライブ	2	0	2	1	8	9	11
アンダードリブン クリアー	—	1	1	4	6	10	11
プッシュ	2	1	3	1	6	7	10
ヘアピン	3	—	3	—	2	2	5
クロスコート	3	—	3	—	—	—	3
ドロップアタック	—	—	—	—	2	2	2
ハイクリアー	—	—	—	—	2	2	2

表2（つづき）

ドロップアタック	3	5	8	4	1	5	13
ドライブ	2	1	3	2	1	3	6
ドリブン クリアー	1	—	1	—	1	1	2
アンダー	1	—	1	—	—	—	1
ドリブン クリアー	5	7	12	2	1	3	15
スマッシュ	5	3	8	2	—	2	10
ドロップアタック	—	2	2	—	1	1	3
ドライブ	—	1	1	—	—	—	1
クロスコート	—	1	1	—	—	—	1

ドロップ・ショットのリターン

ここでもキールストローム・フローマン両選手ともに、ヘアピンを攻撃として使っている様子がわかります。

プッシュのリターン

日本の梅野尾・池田選手ともに、まず、アンダークリアーで逃げますが、キールストローム選手はプッシュで攻めています。フローマン選手もアンダーカットでシャトルを殺して、相手のシャトルを浮かせるように心掛け、次のチャンスを狙っているようです。

ダブルスにおいて、相手の攻めをネットに逃げる方法は一番やさしい方法ですが、また一番危険な方法でもある。相手の位置、動きの方向などを考えて、相手側のリターンが上げざるをえないようなシャトルを打つべきです。

スマッシュやプッシュの練習の時などには、コースを読み、ドライブやプッシュで打ち返す練習をどんどん取り入れて行なった方がよいでしょう。

合成シャトル研究調査報告

〈第2回〉——昭和53年2月

日本バドミントン協会用具委員会

調査の趣旨

昭和21年日本バドミントン協会設立以来、先人のたゆみなき努力の結果、バドミントン人口は次第にふえてきた。特に1965年、日本女子選手が世界女子選手権大会において世界征覇の偉業をなしとげてから、バドミントン競技の理解と認識は一層高まり、その人口は年々急速にふえ続け、今や数百万を数えるともいわれる。小学生、家庭婦人層へも燎原の火のごとく広がりつつあり、今後ますますふえ続けるであろう。

そして、その使用シャトルは水鳥球30万打余、陸鳥球約7万打、合成球10万打と推測される。大半は水鳥球である。この水鳥球の原毛はすべて輸入に頼っている。そしてその現状は輸入量の増大に伴ない、粗悪な原毛をも抱き合せで輸入を強いられている。したがって人件費の増大と原毛価格の高騰は年々シャトルの値上げとなり、プレーヤーの負担増加が大きな悩みの種である。それでも輸入が順調である間はまだよい。もし万一国際情勢の変化により輸入が途絶した場合は、日本のバドミントンはまさにお手上げである。

石油エネルギーに頼って栄えた日本の経済界がその値上げにより、いかなる現状にあるかは、日本バドミントン界のよき反省材料であろう。君子は人の憂いに先立って憂うという言葉があるが、日本バドミントン協会役員たるものは当然そうした先見の明がなくてはならない。陸鳥の原毛にも限りある以上、これに代るものは合成球である。こにわれわれは水鳥球に近い耐久力のすぐれた合成球の研究改良に着手し、ある時期がくれば、かなりの大会使用球はこれに切り替えるべきであると考える。

それによって、いかに今後バドミントン人口がふえても常に安価で耐久性あるシャトルの安定供給が保証される。かかる観点から現在の審査合格の合成球について用具委員会として、その長短を調査し、業界とともどもこれが一層の改良に努力し、優秀な合成球の出現を期待するものである。

調査方法

1. 調査期間（昭52・11～昭53・1）

調査は合成球の欠点である「寒くなると固く、もろくなる」冬期を選んだ。

2. 調査場所および調査者

北海道（五十嵐宣善）・岩手県（竹林克彦）・群馬県（神沢暁）・千葉県（実連—幸野邦彦）・東京都（高体連—龍井昇治、学連—野口浩造、佐藤忠男）・滋賀県（沢長寿）・香川県（藤原和文）・福岡県（和田寿）

3. 試打者

一般・大学生・高校生で、かなり競技経験をもつレギュラー選手を使った。

調査品名

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E
6. F
7. G

以上7種類は昭和53年度日本バドミントン協会用具検定会に審査合格したものである。

調査結果

1. 集中度

すべての球が一定の力で打たれた場合、その飛行距離が一定でなければ、大会使用球としては不適であることは論をまたない。

以上7種類はいずれも審査合格球であるので、許容範囲には当然あるけれども、更にこれを詳しく分析してみた（表1）。

合成球は水鳥球に比較して概して飛行距離が短いので、合成球7種類の飛行距離の中で最も多い分野を、中（普通）とし、それよりやや長いものを長、短いものを短として24個の球の集中度を測定した。ただし長の部のものが水鳥の正規の飛行距離に近いものである。

もちろん、この分け方は主観的な基準であるので、要はいずれかに集中していることが大切である。

2. 耐久性

合成球の生命は水鳥球、陸鳥球に比べて耐久性が優れていることである。最近水鳥球も優秀品は非常に強くなっているが、合成球はその点においてははるかに優れているといえよう。

測定方法としては、連続ハイクリアーを行い、開始後何分くらいで、どの部位から壊れ始め、

何分くらいで使用不適(試合に)の状態になるかを調べてみた。

各調査者の平均的数値を表2に示す。

3．打球感・球の特質

水鳥球、陸鳥球、合成球はそれぞれ打球感が違う。打った感触(味)は水鳥球が最高である。そこで、できるだけ水鳥球の味に近づくよう改良されることが望ましい。

しかし、ただ考えなければならないことは、いかに改良しても水鳥球と同じようにはならない。材質も違うのでこの点は仕方がない。しかし問題は慣れである。過去十数年前の陸鳥球時代は誰もそれに不満は持たなかった。合成球も、これに慣れ、その特徴に合った技術を開発すべきである。

表3は打球感および球の特質について各調査者の評価を数でまとめたものである。

4．打球感の評価

これは全国各地区において試打した評価を次の基準にもとづいて記入したものである。

A′A A′(優)
B′B B′(良)
C′C C′(可)

表4における下の欄の評価は各地区における評価である。上の欄は各地区の評価を平均したものである。

この評価は一時点における結果であり、調査者の主観に差異があるので、結果の客観性についてはもちろん多少の問題がある。今後各方面で同様の調査が数多く行われて、その正誤が証明されるものである。

使用対象

打球感の軽重、飛距離の状態を考慮して、各調査者の意見を集約すると、

1．中学生男子、一般の普通レベルの者の大会に使用しうるもの。
○A ○E
○B ○F
○C ○G
○D

2．小学生、家庭婦人等の初心者および日常の基礎練習用として使用しうるもの。

表1　集中度

番号	品名	長	中	短
1	A		21	3
2	B			24
3	C			24
4	D		12	12
5	E	10	14	
6	F	17	7	
7	G	2	22	

表2　耐久性の平均的数値

番号	品名	イ	ロ	破損部位
1	A	10分〜20分	20分〜30分	強い。 羽根の先端から裂け始める。
2	B	5分〜10分	10分〜25分	羽根の先端から裂け始める。 羽根のつけ根が弱い。
3	C	5分〜10分	10分〜20分	羽根の先端およびつけ根が弱い。 羽根が縦に裂ける。
4	D	5分〜10分	10分〜25分	強い。 縦割れがひどい。 シャトル全体が硬い。
5	E	5分〜15分	10分〜30分	強い。 羽根の先端およびつけ根が弱い。
6	F	10分〜20分	20分〜40分	強い。 羽根のつけ根が弱い。
7	G	5分〜15分	15分〜35分	強い。 羽根の先端から裂ける。

注　イ……破損の始まり。
　　ロ……使用不適（試合）の状態、すなわち飛行にブレや速度の変化が起った状態。

表3　打球感および球の特質

番号		1	2	3	4	5	6	7
調査項目＼品名		A	B	C	D	E	F	G
回転	有	8	2	7	6	7	8	7
	無	1	7	0	3	2	2	2
打球感	重い	7	6	3	4	2	1	4
	普通	2	2	5	5	4	5	3
	軽い	0	1	0	1	4	4	2
飛行速度	遅い	3	7	1	3	1	2	2
	普通	5	1	6	4	7	6	6
	速い	0	1	1	3	2	2	1
飛行性	ブレ	4	0	3	3	2	4	2
	不安定	7	2	2	4	0	2	0
	安定	0	6	4	2	7	4	7
落下状況	垂直に近い	0	3	3	3	7	5	5
	放物線を描く	8	5	5	5	3	5	4
ヘア・ピン時の復元性	遅い	4	1	0	5	0	1	1
	普通	1	4	5	0	7	4	5
	速い	4	4	3	5	3	5	3
スマッシュ	打ちやすい	4	1	7	6	8	7	7
	打ちにくい	4	8	1	4	2	3	2
	受けやすい	4	7	6	8	6	7	5
	受けにくい	4	2	2	2	4	3	4
ドロップ	よく落ちる	2	3	5	2	4	2	4
	普通	1	5	1	4	2	6	4
	落ちにくい	6	1	2	4	4	2	1

表4　打球感の評価

番号	品名	ハイ・クリアー	スマッシュ	ドロップ	ヘアピン	総評
1	A	B	B	B	C	B,
		BB′ CBBB, BB′ B	C′ B′ C′ BBBBA′ C′	C′ CCA, B A, A, B B′	BCCCCC′ BBA	
2	B	B,	B,	B′	B′	B
		CCCB, BB′ BA′ B	C′ BCCBB′ BBC′	B′ A, CACABA′ B,	BCBBCB, A, A′ A	
3	C	B′	B	B′	B	B
		BCBA, BBB′ A′	BB′ B, B′ BBBB	B′ BBA, BB′ A′ A	BCBABABB	
4	D	B	B	B,	C	B,
		B, CAC′ BBB′ BC	B B, B, C B, B B′ B C	BBCCCCB, BB	C′ CCCCC′ CCC	
5	E	A	B′	B′	A,	A,
		AB, ABAAA, A′ A′ B,	A, B, ABB, BAAB′ B	ACABB, BAA, B′ B′	ABAB′ ABAA, BB	
6	F	A,	B′	B	A,	A,
		B′ AB′ B′ BAB′ A, AA	B′ B′ BBB, B′ AAA′ A,	BB, CB′ CB′ AABA′	B′ B′ BA, B, BAAA′ B,	
7	G	A	A,	B′	A,	A,
		AA, A, AAA, ABA	ABB′ B, B′ AA, AA	AB, BA, BABA, B′	AB, A, BBA, A, BC	

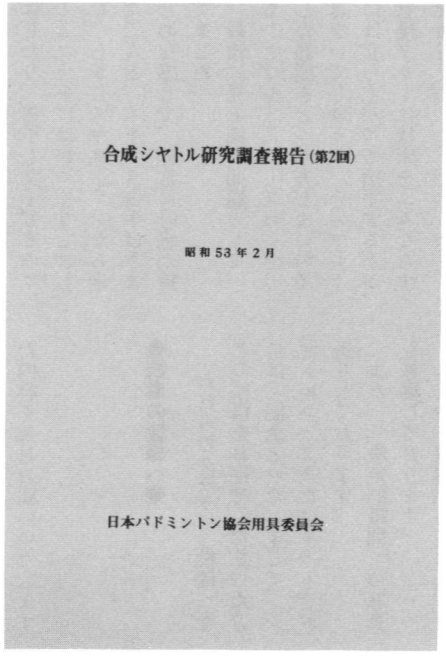
今後の改良点

以上の調査結果からみて、水鳥球との隔たりはかなりあるが、これは今後の研究改良によって次第に改善されるであろう。日本バドミントン協会としても近い将来にすくなくとも中学生大会、ブロック大会、家庭婦人の大会には、合成球使用に踏み切るべきである。

以下改良点で気づいた点を二、三あげてその改良の参考にしたい。

1. 合成球は温度により材質の硬度が変り、耐久性、飛行性が変化する。できれば温暖時用、寒冷時用の2種類が開発されることが望ましい。

2. 全般的に羽根の先端がもろい。何とか上部を少し強くする方法はないか。羽根のつけ根の部分も壊れやすい。この



点も同様である。

3．球にもう少し回転が加われば飛行性が更に安定してくるのではないか。

4．ハイ・クリアーの時に垂直に近く落下し、またヘア・ピンの時の復元性を速くするため、球の重心を少し下方に移動することはできないか。

結　語

合成球の使用は世界の趨勢であり、本年5月ニュージーランドにおけるIBF総会においても、世界選手権大会に合成球を使用する意見が出されるという話がある。日本における現状は余りにもぜいたくであり、また不安である。

合成球の使途は必ず大きくなるし、またそうあるべきである。そこでこれが研究改良は重要な問題であるので、今後とも協会と業界協力の下に優れた合成球の研究出現を期待するものである。

調査にあたり、ご協力下さった調査委員の方々、各地区において調査委員に協力して試打していただいた方々に深甚の謝意を表します。（和田　記）

昭和53年2月

合成シャトル研究調査小委員会

委員長　和田　寿（九　州）
委　員　五十嵐宣善（北海道）
竹林克彦（東　北）
神沢　暁（関　東）
龍井昇治（関　東）
佐藤忠雄（関　東）
沢　長寿（近　畿）
藤原和文（四　国）
野口浩造（学　連）
幸野邦昭（実　連）

〈編集部注〉

本研究は現在も進行中ですので固有名詞は入れず、ABCDEFGといたしました。

☆おしらせ☆

今月号からレイアウトを多少変更し、読みやすくしましたが感想はいかがですか。

また、各連載ページのタイトルにも少しずつカットをあしらうようにしております。

本誌の記事に対して、〝大会の結果ばかりだ〟〝バラエティが少ない〟〝楽しいコラムがほしい〟というご意見が多いため、今月号から高田正純氏の「ノンフィクション・アラカルト」、寺田太郎氏の「演劇随想」の新連載を始めました。

◆高田正純

一九三五年東京生れ。早稲田大学卒。放送ジャーナリスト。テレビニュースのデスクでマフィア通でもある。訳書に「殺人者の自伝」（早川書房）「暗殺チーム」（集英社）「キッシンジャーの道」（徳間書店）「ロシア人」（時事通信社）など。

◆寺田太郎

一九〇八年ニューヨーク生れ。慶応義塾大学を中退し、築地小劇場で演出活動に専念。一九三〇年劇団新東京舞台監督。一九三五年NHK懸賞ラジオドラマ入選。一九四七年俳優座にはいるとともにNHK専属作家。一九六四年からはフリーの演出、執筆活動に専念。

（17ページからつづく）

いるということです。手首の柔らかさを生かした逆カットや、頭上を越された打球を足の間から返球するなど、見て楽しいプレーが多いのに驚かれました。

もちろん教科書的には問題の多いものでしょうが、小さい時からプレーをしていたのではないかと思いました。

それともう一つ気のついたことは、コートマナーの悪さです。真剣に打球を追い走りまくる日本選手とは対照的に、プレー中に相手やベンチに話しかけたり、ラケットを放りなげたり蹴っとばしたり、男子も女子もそのコートマナーにはびっくりしました。しかしスウェーデンから来た二人と、イギリス選手はきまじめな感じで、非常に好感が持てました。

最後に見る側の問題として、もっとプレーに対してはっきりした態度をとった方がよいのではないでしょうか。いいプレーには立ち上がって拍手するとか、怠慢プレーには床をふみならすとか……。

私はもともと表現がオーバーなため、スティーブンス選手がデルフス選手に全力を出し切って、まさに玉砕的に敗れたときは、立ち上がって拍手を送りましたが、まわりの人々に変な目で見られてしまいました。

日本の観客はコンサートなどでも反応があまりないといわれますが、もっと率直に表現すべきでしょう。そうすることによって、選手たちの怠慢プレーは激減すると思います。

また、優勝者にはテニスのようにひとことインタビューして会場に流すなど、工夫があればと思いました。

今年も各種大会が目白押しですが、バドミントン界編集部の皆さん、大いに頑張って充実した内容を毎月お願いいたします。

◆読者の皆様へ◆

「われらのクラブ」「投稿」などの原稿をお寄せくださった方には、記念といたしまして、シャトルコックまたはネットをお送りしております。

また、「決定的瞬間」の写真も募集しております。

ふるって編集部あてお送りくだたい。

SPORTS GLOVES®

¥980（送料¥100）

バドミントンにグローブを！

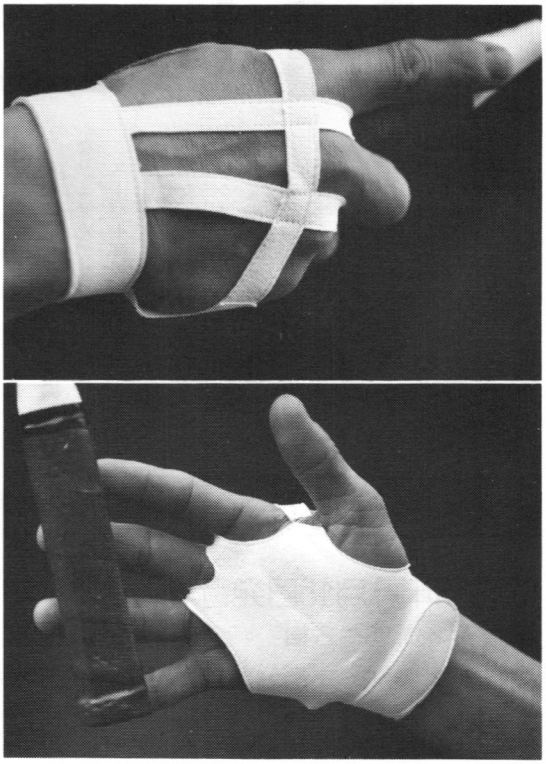
素手の握りの感覚をより強調した上、人造セーム皮が手の平の汗を吸収します
日・英・米の特許製品。石けん、中性洗剤で洗たくが出来ます。
右手用、左手用があり、2枚入りパッケージです。Ⓛサイズ、Ⓢサイズ、
右手、左手用と指定の上、「バドミントン界」と記入して、
郵便振替 横浜 6958 に御送金下さい。すぐ発送します。

松永商品開発研究室 〒248 鎌倉市佐助一の8の18

汗を吸いとり 素手の感触!!

デザイン鮮やかスポーツ・グローブ

全く新しいアイデアのGLOVEが出来た。これは、グリップを強調し、保持力を上げ、手の平の汗を吸収する目的で生れた。通常の手袋のように、素手の感触を失ったり、一瞬のシャトルのショックに反応する神経の鋭さをそこなったりしない。この機能は日・英・米の特許をとっている。SPORTS GLOVESの、もう一つの大きな特徴は、ざん新なデザインだ。試みに数十人の練習場で、標準レンズをつけた35ミリカメラで二〇mの距離から撮影した、モノクロの密着写真ですらSPORTS GLOVESをつけた選手のグリップは鮮やかに、そのシャープなデザインを見せている。一見して、はっきりとSPORTS GLOVESと判るデザインが、新聞・雑誌のスポーツ報道写真で、この春から見られるだろう。



募集します!!

バドミントン界編集部

①クラブ紹介

学校、地域、職場など、あなたのクラブを本誌で紹介してください。原稿用紙にタテ書きで、一行二〇字×一五〇行程度。必ず写真を添えてください。

②決定的瞬間

プレー中の写真を送ってください。大きさはキャビネ判、モノクロに限ります。

③作文

テーマは、「私とバドミントン」。原稿用紙にタテ書きで、四〇〇字詰め一〇枚以内。しめ切りは昭和五三年五月末日。

①クラブ紹介と②決定的瞬間は、順に誌上に掲載させていただきます。③は応募作文を選考のうえ、秀作五篇、佳作五篇を選び、秀作を誌上に掲載させていただきます。また採用の方には、記念品をお送りいたします。なお、応募作品はいずれもお返しできませんのであらかじめコピーをおとりください。

年間購読のおすすめ

バドミントン専門月刊誌「バドミントン界」は、一般の書店では販売しておりません。

バドミントン界は一部定価300円ですが、年間予約購読をお申し込みになりますと、一年間3600円のところを3000円に割引となります。さらに日本バドミントン協会登録会員の方は、2800円となります。

お申し込み方法は簡単です。本誌巻末とじ込みの振替用紙に必要事項明記のうえ、代金をそえてお近くの郵便局からお申し込みください。毎月十五日に発行と同時にお送りいたします。

正確にお届けできますように、住所・氏名はかい書ではっきりと、また、寮・アパート・マンション等にお住いの方は、室番号も明記してください。郵便番号もお忘れなく。

バドミントン界一年分を簡単に保存できる便利な合本バインダーは一冊500円（荷造送料一冊まで300円、三冊まで600円、四冊以上700円）です。

購読ご希望の方は、編集部あて年間予約購読をお申し込みください。

訃報

本協会代議員、前常務理事島根県バドミントン協会理事長の石原幸雄氏は、3月11日午後9時5分肝硬変のため逝去されました。ご冥福をお祈りするとともに、ここにつつしんでお知らせいたします。

日本バドミントン協会

編集室から

◆ヨーロッパ遠征では、徳田敦子・高田幹子組が見事に女子ダブルスで優勝しました。しかも、二位には植野恵美子、米倉よし子組がくい込み、ユーバー杯へ明るいニュースとなりました。

湯木博恵、近藤小織の両選手も大いに頑張りましたが、イギリスの女王、ギリアン・ギルクス夫人に相ついで敗れ、優勝はなりませんでした。

ユーバー杯代表選手を中心にわが国第一線女子選手による全日本女子チャンピオンズ・トーナメントが来たる4月30日(日)、横浜文化体育館で開かれます。

時間等詳しいことは協会までお問合せください。

◆来月号は、ヨーロッパ遠征に同行した本誌記者の記事と写真を中心にお届けしますので、どうぞご期待を。

またクラブ紹介など投稿を募集しています。ふるってどうぞ。

バドミントン界　通巻第102号　1978年4月号　定価 300円

©1978　無断転載を禁ず

昭和53年4月15日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号 150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111(代表) 内線351
振替　東京5－9525(バドミントン界編集部)

写真をお分けします

本誌編集部では、次の要領で写真をお分けいたします。

◆写真の大きさ

Ⓐキャビネ判プリント（12センチ×16センチ）

Ⓑ４つ切パネル貼り（25センチ×30センチ）

いずれもモノクロのみ

◆料金

Ⓐキャビネ判プリント＝１枚につき1,000円

Ⓑ４つ切パネル貼り＝１枚につき2,000円

◆お申込み方法

本誌とじ込み振替用紙の通信欄に、写真の大きさと写真番号、枚数を明記のうえ、お近くの郵便局から料金を添えてお申し込みください。送料は編集部で負担します。

◆今月お分けできる写真はこのページのものです。

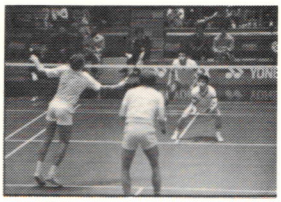
◆シメキリ

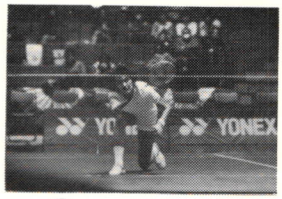
昭和53年４月30日（消印有効）

◆発送

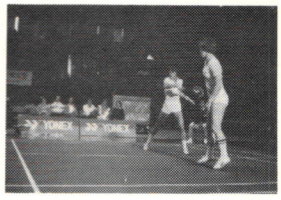
５月20日頃の予定

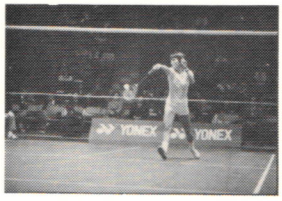
バドミントン界編集部

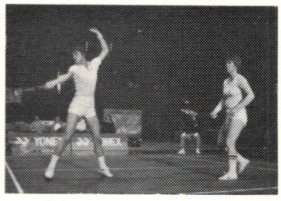

1

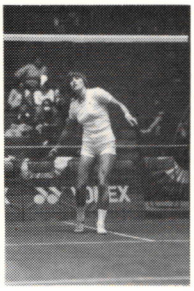

2

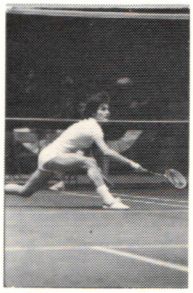

3

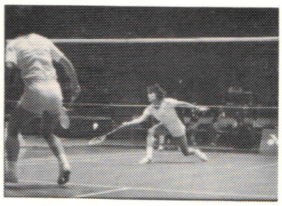

4

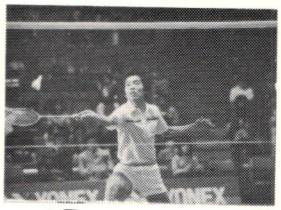

5

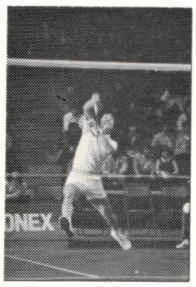

6

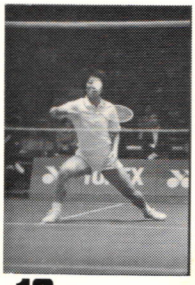

7

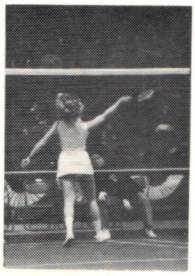

8

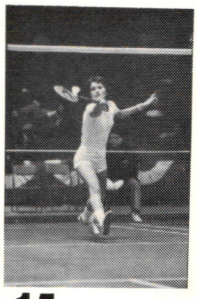

9


10


11


12


13


14

〈トリミングはこれとやや異なることがあります〉

月刊「バドミントン界」4月号
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年4月15日発行（毎月1回15日発行通巻第102号）
発行所・東京都渋谷区神南1丁目1番地1号岸記念体育会館内　日本バドミントン協会　定価300円



チャンスが来たぞ。

世界の一流プレイヤーが
使っているヨネックスの
インターナショナル製品を
抽選で、10,000名の方に
プレゼント。

●下記のヨネックス製品をおもとめください。
ラケット＝B1000からB9300までのラケット。
ウエア＝日本バドミントン協会推せんのすべてのウエア。そのほかウォームアップ、トレーナー、パーカー、ウインドブレーカー。
バッグ＝No.350 No.351 No.352（A・B） No.354 No.355 No.356 No.357 No.359（以上該当商品）

●抽選で10,000名の方に左の商品のうち、どれか1点をプレゼント。
これらの商品はイギリス、オランダ、スウェーデン、デンマークなどの国々で人気の高いヨネックスのインターナショナル製品です。

●ご応募の方法
おもとめになったヨネックス製品（該当商品）についている応募ハガキに、おもとめの製品の価格シールをお貼りになってお送りください。

●実施期間
昭和53年2月1日～5月31日（応募締切）

●当選発表
昭和53年6月15日 雑誌〝バドミントン界〟誌上と各参加店の店頭。なお、プレゼント商品はおもとめになったお店を通してお渡しいたします。



①バッグA（100点）
ラケット、ウエアなどが専用に納まる特製バッグ。
（※写真のうち、ラケット、ウエア、アクセサリーなどは含みません。）



②バッグB（500点）
一流プレイヤーのサイン入り。



③バドミントン・ポット（500個）
シャトルコックスタイルのシャレたポット。

④ラケットB-9100（300本）
サイン入り。
⑤ウォームアップ（100セット）
いま、断然人気のNo.118型特製。
⑥タオル（500本）
特大のスペシャルタオルです。
⑦ラケットケース（3,000枚）
特製サイン入り。
⑧ガット（5,000張）
ヨネックス高級ガット。

YONEX®